
恵庭市

平成30年度

恵庭市市民意識調査結果報告書（概要版）

平成30年9月

目次

1. 調査実施概要	3
(1) 調査名称	3
(2) 調査項目	3
(3) 調査対象	3
(4) 調査期間	3
(5) 調査方法	3
(6) 回収結果	3
(7) 集計方法	3
(8) アンケート配布範囲（居住区域の区分け）	4
(9) 調査票	5
2. 調査結果の分析	17
2.1. 回答者の属性について	17
(1) 性別	17
(2) 年代	18
(3) 職業	19
(4) 通勤先・通学先	20
(5) 家族構成	21
(6) 居住地域	22
(7) 恵庭市在住通算年	23
(8) 現住所以前の住所	24
(9) 住居形態	25
2.2. まちの印象について	26
問1. あなたにとって「恵庭市」の住み心地はどうか。	26
問2. あなたは、これからも「恵庭市」に住み続けたいと感じますか。	27
問3. あなたが今後も「恵庭市」に住み続けたい理由は何ですか。	28
問4. あなたが引っ越したいと思う理由は何ですか。	29
問5. どこに引越したいと思いますか。	30
2.3. 恵庭市での暮らしについて	31
問6. 災害時における、お近くの避難場所をご存知ですか。	31
問7. 災害などの非常時に備えてどのような対策をとっていますか。	32
問8. 消火器やAEDの使用方法をご存知ですか。	33
問9. 障がいのある方が日常生活の困りごとを感じていると思いますか。	34
問10. 恵庭市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉ができていると思いますか。	35
問11. 高齢者や障がい者にとって住みよいまちづくりができていると思いますか。	36
問12. 認知症についてご存知ですか。	37
問13. 認知症に不安を感じていることはありますか。	38
2.4. 子ども、教育、文化、スポーツについて	39
問14. 恵庭市が市民のふるさと意識が高いまちだと思いますか。	39
問15. 恵庭市の地域で子育て支援や子どもの育成のための取り組みが行われていると思いますか。	40
問16. 恵庭市の子育て環境（施設、事業、支援）が整っていると思いますか。	41
問17. 恵庭市が子育て世代にとって子育てに関する各種情報が入手しやすいと思いますか。	42
問18. 子ども・子育てに関する施策で今後、特に重点をおいて取り組んで欲しいと思うことは何ですか。	43
問19. この一年で運動やスポーツ活動をどのくらいの頻度で行いましたか。	44
問20. あなたは、今いきがいを感じていますか。	45
問21. どのようなことでいきがいを感じますか。	46
2.5. 産業、農業、経済、観光について	47
問22. 恵庭市が障がいのある方や高齢者を含めて様々な立場の人の就労の場があるまちだと思いますか。	47
問23. 恵庭市内に魅力的なお店があると思いますか。	48
問24. 恵庭市外の人に恵庭市の魅力を伝えることができると思いますか。	49
問25. 市外から友人や知人が訪ねてきたら、恵庭の何をおすすめしますか。	50
問26. 観光客が多く訪れることにより、どのような変化がおこると思いますか。	51
問27. 恵庭に観光に来る外国人旅行者が今より増えてほしいと思いますか。	52
問28. 農畜産物を購入するときに恵庭産であることを意識していますか。	53
2.6. 都市基盤、生活環境、自然環境について	54

問 29. あなたは、安心して暮らせる冬の生活環境をつくるために、除雪や排雪の仕組みをきめた計画（恵庭市雪対策基本計画）があることを知っていますか。……………	54
問 30. 水道水の安定供給が行われていると思いますか。……………	55
問 31. 大雨時の浸水対策が行われていると思いますか。……………	56
問 32. 最寄りの駅周辺に賑わいがあると思いますか。……………	57
問 33. 日常生活の中で、ごみマナー向上・リサイクル推進を意識されていますか。……………	58
問 34. 日常生活の中で、節電を意識されていますか。……………	59
2.7. 人材育成、行政サービス、協働、市民自治について……………	60
問 35. あなたが得ている市役所からの情報はわかりやすいですか。……………	60
1. 市広報誌……………	60
2. 市ホームページ……………	60
3. 市公式フェイスブック……………	60
4. 市各担当・施設窓口……………	60
5. 市各種計画書等の冊子やリーフレットなど……………	60
6. 新聞など……………	60
7. 地域FM放送（FM e-niwa）……………	60
8. メール配信サービス……………	60
問 36. 恵庭市が透明性の高い行政運営を実施していると感じますか。……………	62
問 37. 恵庭市に対して市民の声を政策の決定や予算に反映させる仕組みがあることをご存知ですか。……………	63
問 38. 市役所の仕事の取り組み方について、あなたがもっと力を入れてほしいと思うことは何ですか。……………	64
問 39. 市役所で届出や申請をした際に、わかりづらいと感じたことはありますか。……………	65
問 40. 恵庭市まちづくり基本条例があることをご存知ですか。……………	66
問 41. このようなまちづくりが、どの程度進んでいると感じますか。……………	67
問 42. 今までどのような活動に参加・協力したことがありますか。……………	68
問 43. 和木町（山口県）、ティマル市（ニュージーランド）と姉妹都市、藤枝市（静岡県）と友好都市提携を結んでいることをご存知ですか。……………	69
問 44. 男女共同参画社会への取り組みをご存知ですか。……………	70
問 45. 市政全般についてお気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。……………	71

1. 調査の実施概要

- 1 調査名称 恵庭市総合計画に係わる市民意識調査
- 2 調査項目 (1) まちの印象について
(2) 防災、福祉、保健、医療について
(3) 子ども、教育、文化、スポーツについて
(4) 産業、農業、経済、観光について
(5) 都市基盤、生活環境、自然環境について
(6) 人材育成、行政サービス、協働、市民自治について
- 3 調査対象 (1) 母集団
平成 30 年 5 月 1 日現在、恵庭市内に居住する 16 歳以上の市民
(2) サンプルサイズ 2000 人
(3) 抽出方法 無作為抽出
- 4 調査期間 平成 30 年 5 月 11 日（金）～5 月 31 日（木）
- 5 調査方法 郵送法
- 6 回収結果 有効回収数（率） 1049 票（52.5%）
<参考：過年度の回収率>
- | 年度 | 回収率（%） |
|----------|--------|
| 平成 21 年度 | 47.0 |
| 平成 24 年度 | 50.3 |
| 平成 25 年度 | 47.0 |
| 平成 26 年度 | 44.5 |
- 7 集計方法
- ・ 結果数値（%）は表章単位未満を四捨五入してあるので、内訳の合計が計に一致しないこともある。
 - ・ 無回答を除外して集計している。
 - ・ 3 つまでの回答制限がある設問で 4 つ以上回答がある場合も、そのまま集計している。

■産業、農業、経済、観光について■

以下の設問は右のとおり、あてはまると思うところに○をしてください。		思う	少しあ 思う	あまり 思 わない	思 わ ない
問22	あなたは、恵庭市が障がいのある方や高齢者を含めて様々な立場の人の就労の場があるまちだと思いますか。	1	2	3	4
問23	あなたは、恵庭市内に魅力的なお店があると思いますか。	1	2	3	4
問24	あなたは、恵庭市外の人に恵庭市の魅力を伝えることができますか。	1	2	3	4

問25 問24で「魅力を伝えることができる」「魅力を伝えることができるとまあ思う」とご回答いただいた方にお聞きします。あなたは、市外から友人や知人が訪ねてきたら、恵庭の何をおすすめしますか。
次の中から選んで具体的に記載してください。（○はいくつでも可）

- 1. 食（ ）
- 2. 観光スポット（ ）
- 3. 祭り・イベント（ ）
- 4. 自然・景観（ ）
- 5. お土産・商品（ ）
- 6. その他（ ）

問26 観光客が多く訪れることにより、どのような変化がおこると思いますか。
次の中から選んでください。（○はいくつでも可）

- 1. 経済が活性化し、景気が良くなる
- 2. まちの賑わいが増す
- 3. 恵庭の良いイメージが市外の方に伝わるようになる
- 4. 市外・道外・海外からの来訪者と交流の機会が増える
- 5. 治安が悪くなる
- 6. まちの美しさが損なわれる
- 7. その他（ ）
- 8. 特に変化はない



⇒次のページへお進みください

問27 あなたは、恵庭に観光に来る外国人旅行者が今より増えてほしいと思いますか。減ってほしいと思いますか。次の中から選んでください。（一つだけ）

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 増えてほしい | 2. もう少し増えてほしい |
| 3. 今までのままでいい | 4. もう少し減ってほしい |
| 5. 減ってほしい | 6. わからない・どちらともいえない |

問28 あなたは、農畜産物を購入するときに恵庭産であることを意識していますか。次の中から選んでください。（一つだけ）

1. いつも意識している
2. 時々意識している
3. 意識したことがない



■都市基盤、生活環境、自然環境について■

問29 あなたは、安心して暮らせる冬の生活環境をつくるために、除雪や排雪の仕組みをきめた計画（恵庭市雪対策基本計画）があることを知っていますか。次の中から選んでください。（一つだけ）

1. 計画、その内容ともに知っている
2. 計画があることは知っているが、その内容までは知らない
3. 計画があることを知らない

以下の設問は右のとおり、あてはまるところに○をしてください。		思う	少しあ 思う	あまり わ ない 思	思 わ ない
問30	あなたは、水道水の安定供給が行われていると思いますか。	1	2	3	4
問31	あなたは、大雨時の浸水対策が行われていると思いますか。	1	2	3	4
問32	あなたは、最寄りの駅周辺に賑わいがあると思いますか。	1	2	3	4

⇒次のページへお進みください

以下の設問は右のとおり、あてはまるところに○をしてください。		大変意識している	ある程度意識している	あまり意識していない	まったく意識していない
問33	あなたは、日常生活の中で、ごみマナー向上・リサイクル推進を意識されていますか。	1	2	3	4
問34	あなたは、日常生活の中で、節電を意識されていますか。	1	2	3	4

■人材育成、行政サービス、協働、市民自治について■

問35 あなたが得ている市役所からの情報はわかりやすいですか。下記の1～8の各項目について、最も近いもの一つずつ選んで右の欄に○をつけてください。

市役所から発信している情報の種類	わかりやすさ				この情報を発信している利用していない
	大変わかりやすい	わかりやすい	わかりにくい	非常にわかりにくい	
1. 市広報誌	1	2	3	4	5
2. 市ホームページ	1	2	3	4	5
3. 市公式フェイスブック	1	2	3	4	5
4. 市各担当・施設窓口	1	2	3	4	5
5. 市各種計画書等の冊子やリーフレットなど	1	2	3	4	5
6. 新聞など	1	2	3	4	5
7. 地域FM放送（FM e-niwa）	1	2	3	4	5
8. メール配信サービス	1	2	3	4	5

問36 あなたは、恵庭市が透明性の高い行政運営を実施していると感じますか。次の中から選んでください。（一つだけ）

1. 大変感じる
2. ある程度感じる
3. あまり感じない
4. まったく感じない

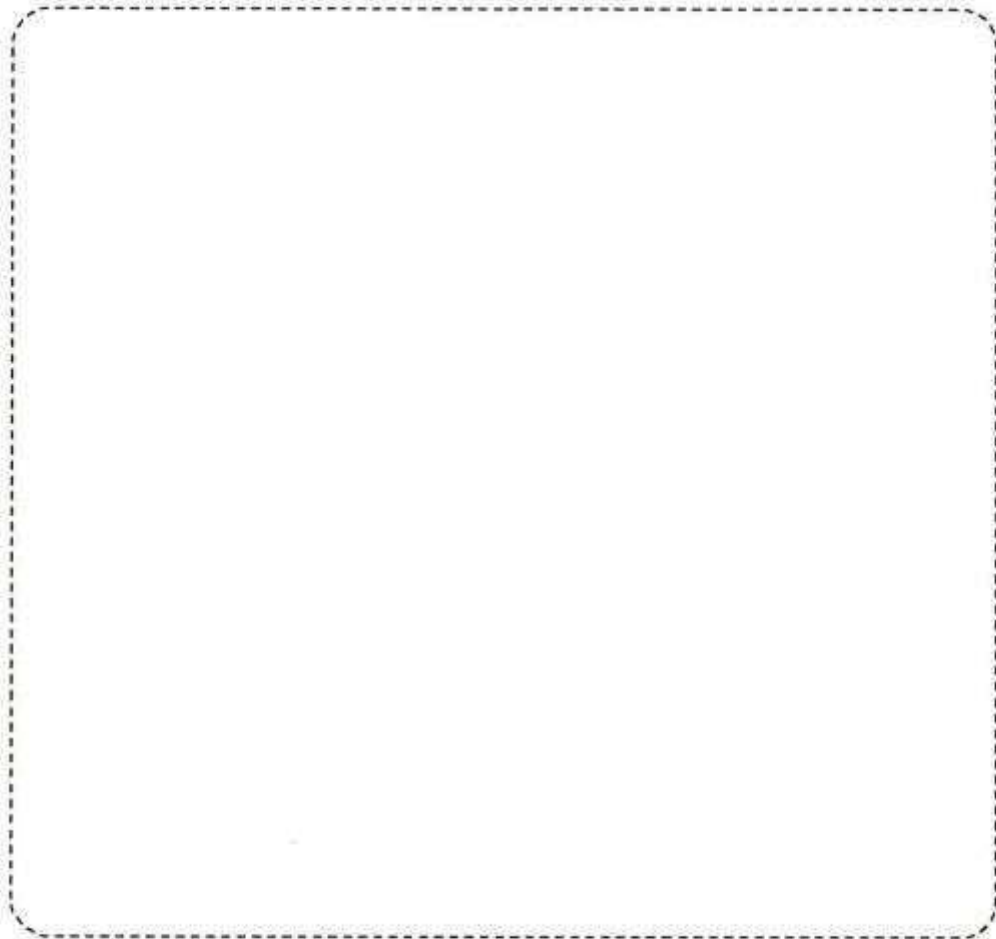
問37 あなたは、恵庭市に対して市民の声を政策の決定や予算に反映させる仕組みがあることをご存知ですか。次の中から選んでください。（一つだけ）

1. 仕組みがあること、その内容ともに知っている
2. 仕組みがあることは知っているが、その内容までは知らない
3. 仕組みがあることを知らない

※仕組みの例
 ・審議会への参加
 ・パブリックコメント
 ・市長への手紙など

⇒次のページへお進みください

問45 市政全般についてお気づきの点がありましたら、どのようなことでも構いません。
ご自由にお書きください。



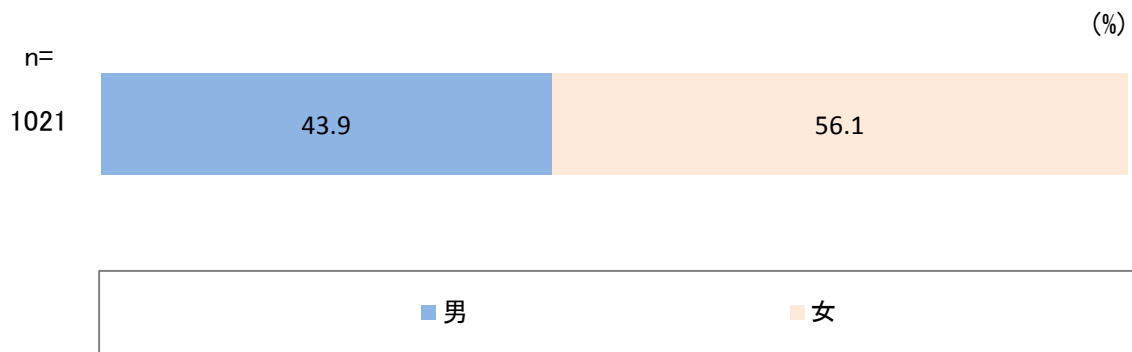
ご協力ありがとうございました。
記入後は返信用封筒にこの調査票を入れて切手を貼らずに5月31日（木）
までにご返送ください。

2. 調査結果の分析

（◎：全体値に対するコメント／・：クロス集計に対するコメント／●：経年比較に対するコメント）

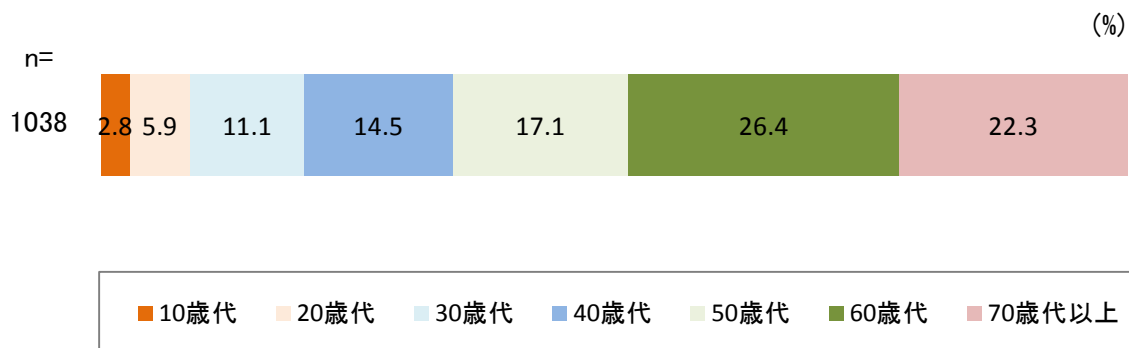
3.1. 回答者の属性について

(1) 性別



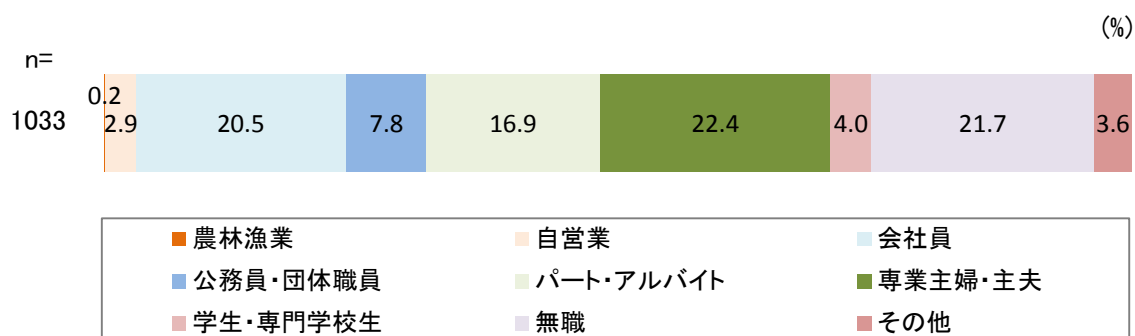
- ◎回答者の性別は、「男性」43.9%、「女性」56.1%と女性の回答者が多くなっている。
- ・年代別にみると、「男性」の割合が10歳代で55.2%、70歳代以上で54.7%と「女性」に比べ高く、一方その他の年代では「女性」の割合が「男性」に比べ高くなっている。

(2)年代



- ◎回答者の年代は、「60歳代」が26.4%と最も多く、50歳以上の回答者が65.8%となっている。
- ・居住地域別にみると、恵み野小・恵み野旭小学校区の50歳以上の回答者が71.6%と他の居住地域に比べ高くなっている。
- ・住居形態別にみると、持ち家（分譲マンション含む）では60歳代以上が53.8%となっている。一方、民間の借家・アパート・賃貸マンション等では30～40歳代が47.1%となっている。
- 平成26年度調査では60歳代以上が43.9%であったが、平成30年度調査では48.7%となっている。

(3)職業



- ◎回答者の職業は、「専業主婦・主夫」が 22.4%と最も多く、次いで「無職」が 21.7%、「会社員」が 20.5%といずれも 20%以上となっている。
- ・性別にみると、男性では「会社員」が 31.8%、「無職」が 35.1%といずれも 30%以上となっており、女性では「専業主婦・主夫」が 40.4%となっている。
 - ・通勤・通学先別にみると、札幌市では「公務員・団体職員」が 57.6%と他の通勤・通学先に比べ高くなっている。
 - ・居住地別にみると、若草小学校区では「公務員・団体職員」が 32.5%と他の居住地域に比べ高くなっている。
 - ・恵庭市在住通算年別にみると、10 年未満では「会社員」「公務員・団体職員」が合わせて 40%台と 10 年以上に比べ高くなっている。

(4)通勤・通学先

<回答者条件>「通勤・通学している」と回答した人



■ 恵庭市内 ■ 北広島市 ■ 千歳市 ■ 札幌市 ■ その他

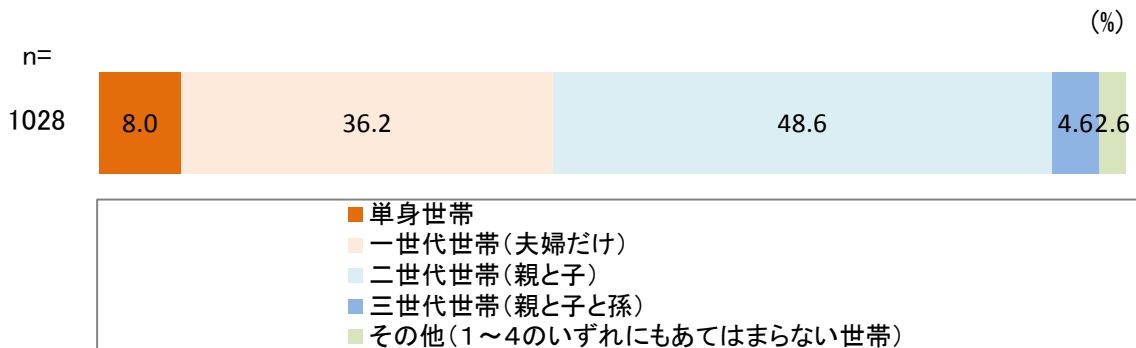
◎回答者の通勤・通学先は、「恵庭市内」が 52.0%と最も多く、約半数を占めている。次いで、「札幌市」が 17.7%、「千歳市」が 15.7%となっている。「その他」の中では、苫小牧市（11名）、江別市（5名）となっている。

- ・職業別にみると、「恵庭市内」を通勤・通学先に行している会社員が 40.5%となっている。
- ・家族構成別にみると、多世代ほど「恵庭市内」が低くなっている。
- ・恵庭市在住通算年別にみると、20年以上30年未満では「恵庭市内」が 45.8%と他の層に比べ低くなっている。
- 平成 26 年度調査では「恵庭市内」が 59.7%であったが、平成 30 年度調査では 52.0%となっている。

<その他の主な内容>

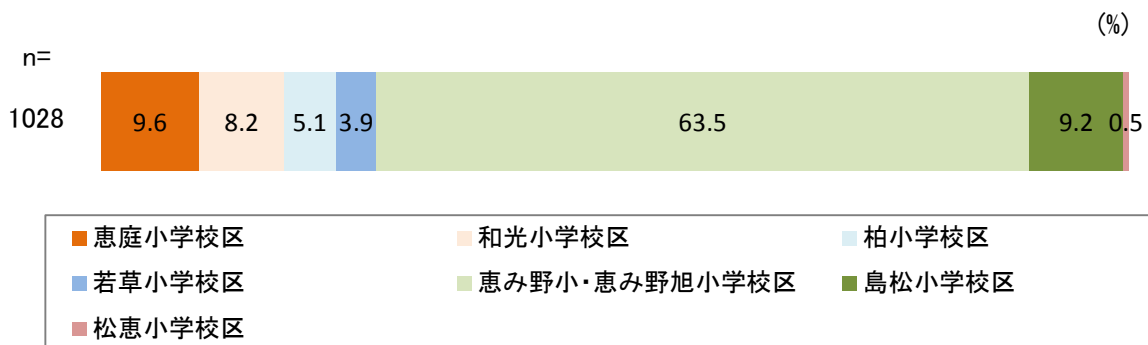
- ・「苫小牧市」「江別市」「長沼町」など

(5) 家族構成



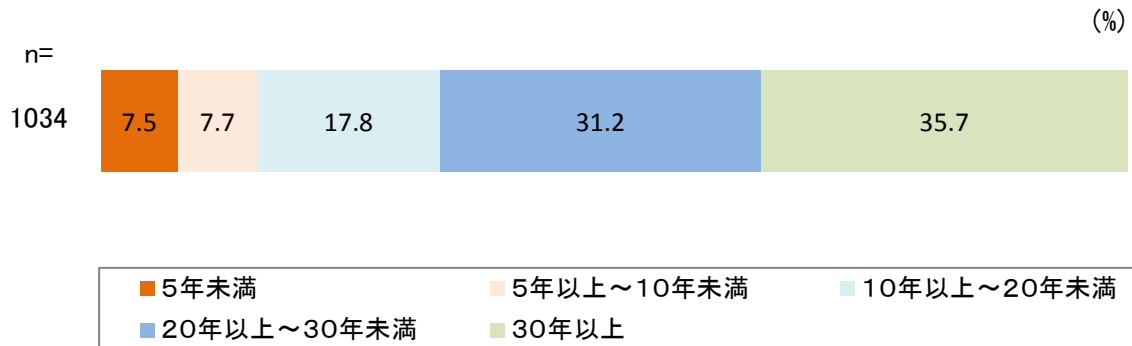
- ◎回答者の家族構成は、「二世代会世帯（親と子）」が 48.6%と最も多く、次いで「一世代世帯（夫婦だけ）」が 36.2%となっており、合わせた核家族は 84.8%を占めている。
- ・居住地域別にみると、恵庭小学校区では「単身世帯」が 18.4%と他の居住地域に比べ高くなっている。
 - ・恵庭市在住通算年別にみると、5年未満では「単身世帯」が 15.6%と5年以上に比べ高くなっている。
 - ・現住所以前の住所別にみると、恵庭市内では「三世代会世帯（親と子と孫）」が 58.2%と他の層に比べ高くなっている。

(6) 居住地域



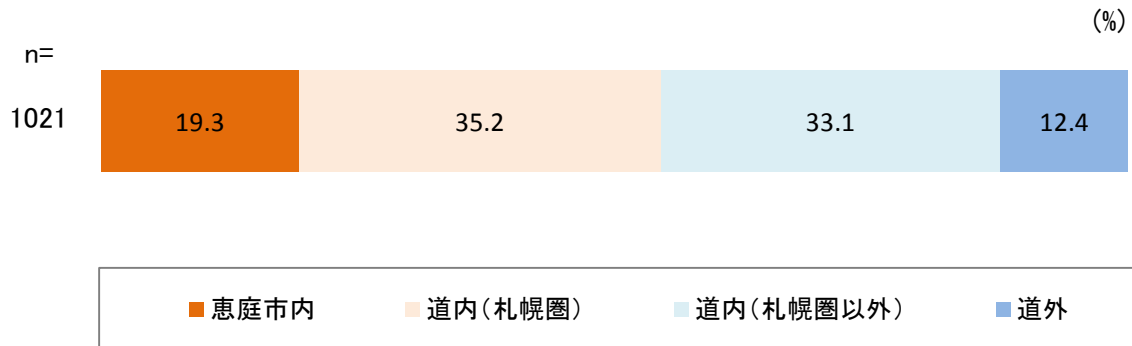
- ◎回答者の居住地域は、「恵み野小・恵み野旭小学校区」が63.5%と最も多くなっており、次いで「恵庭小学校区」が9.6%、「島松小学校区」が9.2%となっている。
- ・家族構成別にみると、一世代世帯（夫婦のみ）では「恵み野小・恵み野旭小学校区」が74.9%と他の家族構成に比べ高くなっている。
 - ・恵庭市在住通算年別にみると、20年以上30年未満では「恵み野小・恵み野旭小学校区」が72.7%と他の層に比べ高くなっている。
 - ・住居形態別にみると、民間の借家・アパート・賃貸マンション等では「恵庭小学校区」が30.2%と持ち家（分譲マンション含む）に比べ高くなっている。
- 平成26年度調査では「恵み野小・恵み野旭小学校区」が22.3%であったが、平成30年度調査では63.5%となっている。

(7) 恵庭市在住通算年



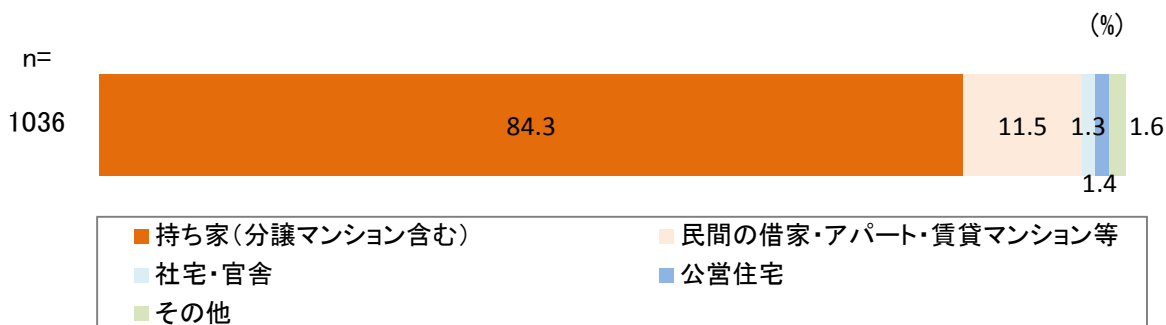
- ◎回答者の恵庭市在住通算年は、「10年以上～20年未満」が17.8%、「20年以上～30年未満」が31.2%、「30年以上」が35.7%となっており、在住通算年が増えるほど高くなっている。
- ・年代別に30歳以上に限ってみると、年代が上がるごとに「5年未満」の割合が減少、「30年以上」の割合が増加している。
 - ・通勤・通学先別にみると、札幌市では「30年以上」が14.1%と他の通勤・通学先に比べ低くなっている。
 - ・現住所以前の住所別にみると、恵庭市内では「30年以上」が57.4%と他の層に比べ高くなっている。
 - ・住居形態別にみると、持ち家（分譲マンション含む）では20年以上が71.8%となっている。
- 平成26年度調査では20年以上が62.5%であったが、平成30年度調査では66.9%となっている。

(8) 現住所以前の住所



- ◎回答者の現住所以前の住所は、「道内（札幌圏）」が 35.2%と最も高く、次いで「道内（札幌圏以外）」が 33.1%、「恵庭市内」が 19.3%となっている。
- ・居住地域別にみると、恵み野小・恵み野旭小学校区では「恵庭市内」が 15.4%と他の居住地域に比べ低くなっている。
 - ・恵庭市在住通算年別にみると、30年以上では「恵庭市内」が 31.0%と30年未満に比べ高くなっている。

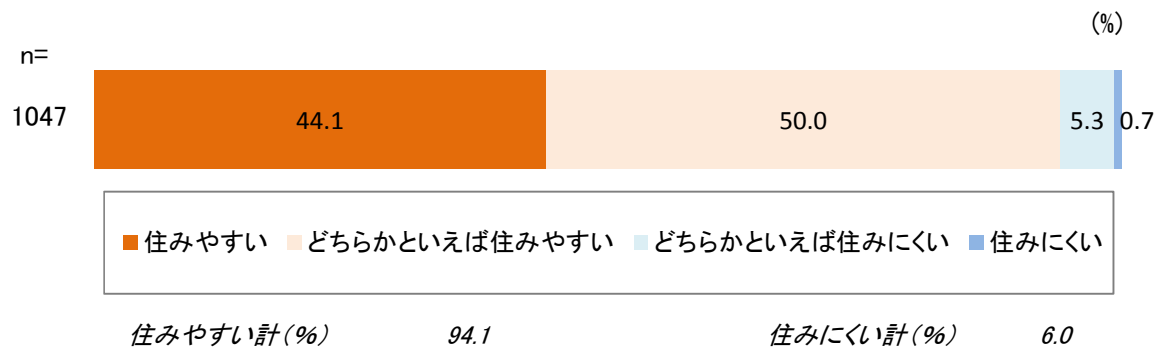
(9)住居形態



- ◎回答者の住居形態は、「持ち家（分譲マンション含む）」が84.3%と高くなっている。
- ・年代別では、30歳代では「持ち家（分譲マンション含む）」が68.7%と他の年代に比べ低くなっている。
 - ・通勤・通学先別にみると、恵庭市内では「持ち家（分譲マンション含む）」が71.9%と他の通勤・通学先に比べ低くなっている。
 - ・家族構成別にみると、単身世帯では「持ち家（分譲マンション含む）」が53.7%と他の家族構成に比べ低くなっている。
 - ・居住地域別にみると、恵庭小学校区では「持ち家（分譲マンション含む）」が58.6%と他の居住地域に比べ低くなっている。
 - ・恵庭市在住通算年別にみると、通算年が長いほど「持ち家（分譲マンション含む）」の割合が高くなっている。
- 平成26年度調査では「持ち家（分譲マンション含む）」が79.5%であったが、平成30年度調査では84.3%となっている。

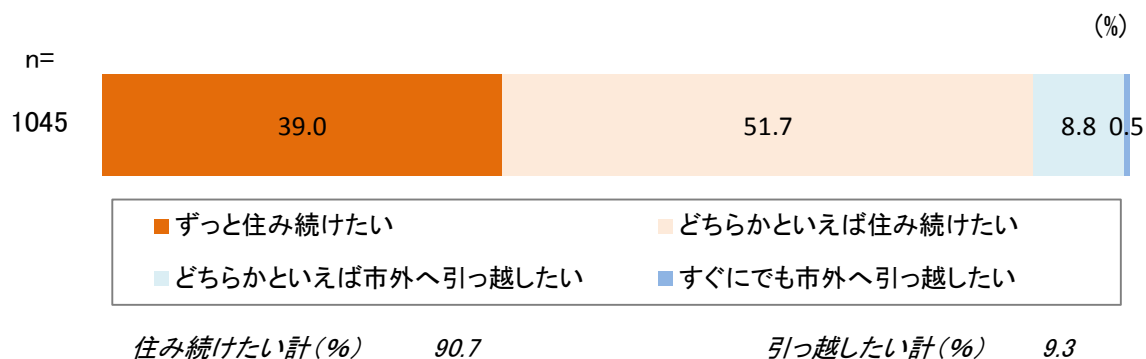
2.2. まちの印象について

問1 あなたにとって「恵庭市」の住み心地はどうか。



- ◎恵庭市の住み心地については、「住みやすい」(44.1%)と「どちらかといえば住みやすい」(50.0%)となっており、合わせた94.1%の人が恵庭市は住みやすいと回答している。
- ・年代別にみると、20歳代では「住みやすい」が54.1%と他の年代に比べ高くなっている。
 - ・居住地域別にみると、柏小学校区、若草小学校区、島松小学校区では「住みやすい」が30%台と他の居住地域に比べ低くなっている。

問2 あなたは、これからも「恵庭市」に住み続けたいと感じますか。

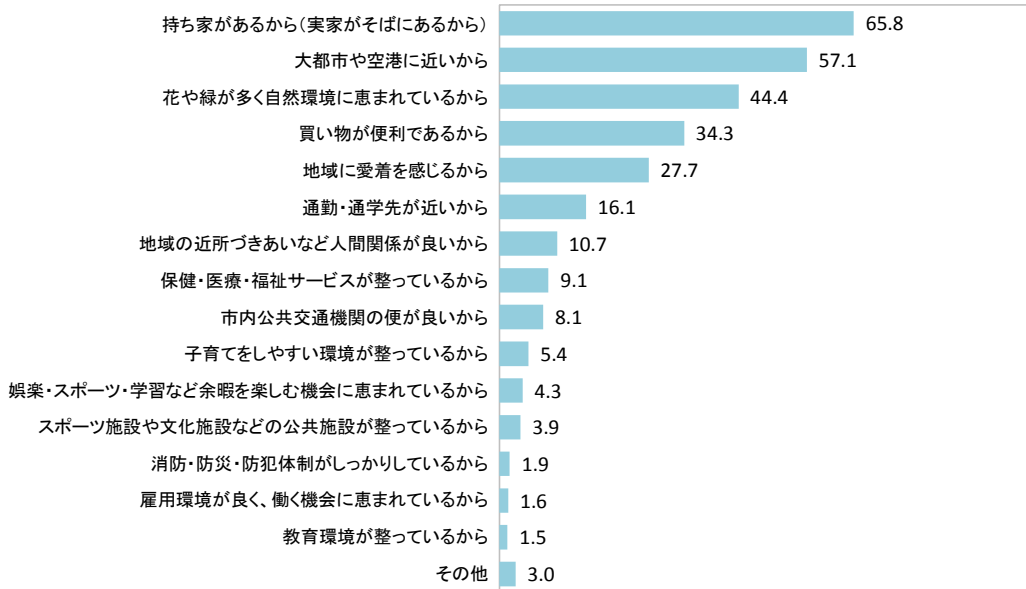


- ◎恵庭市での継続的な居住については、「ずっと住み続けたい」（39.0％）と「どちらかといえば住み続けたい」（51.7％）となっており、合わせた90.7％の人が恵庭市に住み続けたいと回答している。
- ・年代別にみると、高齢層ほど「ずっと住み続けたい」が高くなっている。）
 - ・職業別にみると、学生・専門学校生では「ずっと住み続けたい」が17.1％と他の職業に比べ低くなっている。
 - ・通勤・通学先別にみると、札幌市では「ずっと住み続けたい」が31.9％と他の通勤・通学先に比べ低くなっている。
 - ・居住地域別にみると、若草小学校区では「ずっと住み続けたい」が32.5％と他の居住地域に比べ低くなっている。
 - ・恵庭市在住通算年別にみると、通算年が長いほど「ずっと住み続けたい」が高くなっている。
 - ・現住所以前の住所別にみると、道外では「ずっと住み続けたい」が29.4％と他の層に比べ低くなっている。
 - ・住居形態別にみると、民間の借家・アパート・賃貸マンション等では「ずっと住み続けたい」が28.0％と持ち家（分譲マンション含む）に比べ低くなっている。

問3 あなたが今後も「恵庭市」に住み続けたい理由は何ですか。

<回答者条件> 今後、「恵庭市に住み続けたい」と回答した人
n= 948

(%)



◎恵庭市に住み続けたいと回答した人に、住み続けたい理由を聞いたところ、「持ち家があるから(実家がそばにあるから)」が65.8%と最も高く、次いで「大都市や空港に近いから」が57.1%、「花や緑が多く自然環境に恵まれているから」が44.4%となっている。

- ・年代別にみると、20歳代では「地域に愛着を感じるから」、30～40歳代では「通勤・通学先が近いから」が他の年代に比べ高くなっている。
- ・職業別にみると、会社員、公務員では「通勤・通学先が近いから」が他の職業に比べ高くなっている。
- ・家族構成別にみると、三世帯世帯（親と子と孫）では「地域に愛着を感じるから」が46.7%と他の家族構成に比べ高くなっている。
- ・居住地域別にみると、若草小学校区では「通勤・通学先が近いから」が30.6%と他の居住地域に比べ高くなっている。
- ・恵庭市在住通算年別にみると、10年未満では「通勤・通学先が近いから」が27%と10年以上に比べ高くなっている。
- ・現住所以前の住所別にみると、恵庭市内では「地域に愛着を感じるから」が48.0%と他の層に比べ高くなっている。
- ・住居形態別にみると、民間の借家・アパート・賃貸マンション等では「通勤・通学先が近いから」が29.4%と持ち家（分譲マンション含む）に比べ高くなっている。

<その他の主な内容>

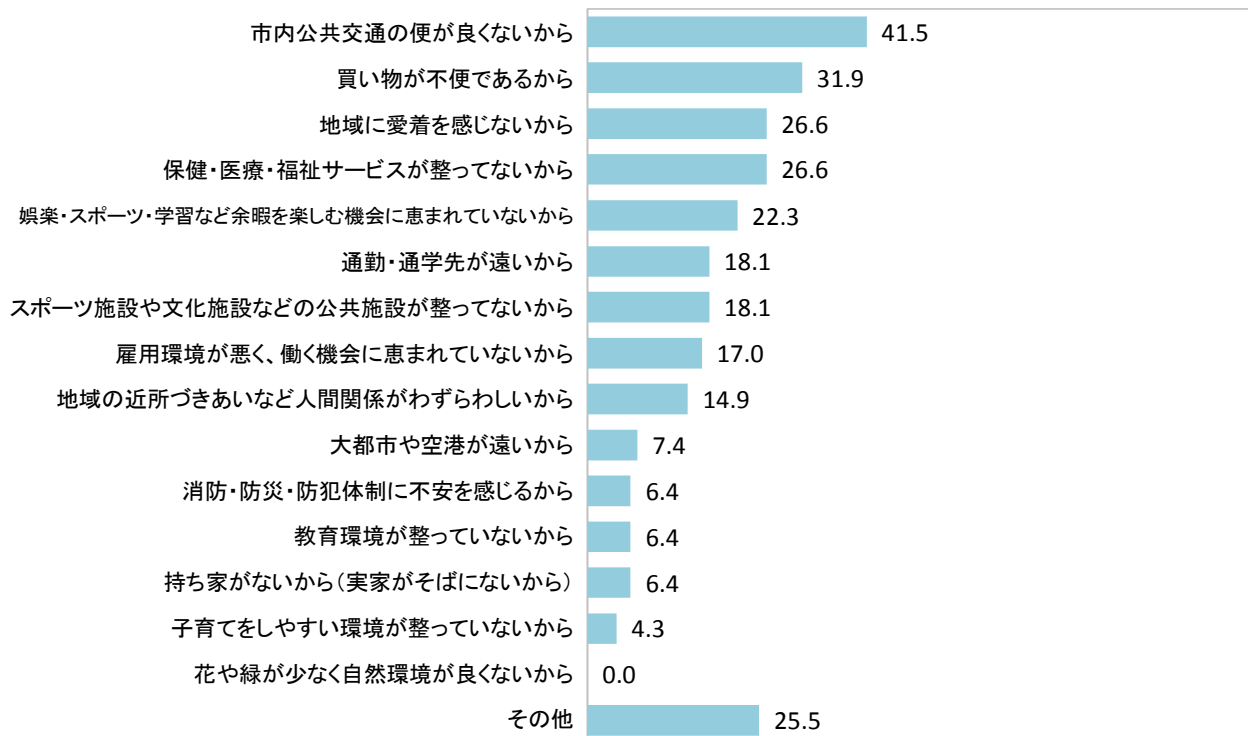
- ・「通勤が近い」「除雪対策、排雪対策が良い」「親族が近くに住んでいる」など様々。

問4 あなたが引っ越したいと思う理由は何ですか。

<回答者条件> 今後、「恵庭市外に引っ越したい」と回答した人

n= 94

(%)



◎引っ越したいと回答した人に、引っ越したい理由を聞いたところ、「市内公共交通の便が良くないから」が41.5%と最も高く、次いで、「買い物が不便であるから」が31.9%、「地域に愛着を感じないから」「保健・医療・福祉サービスが整ってないから」が各々26.6%となっている。

・性別にみると、男性では「娯楽・スポーツ・学習など余暇を楽しむ機会に恵まれていないから」、女性では「市内公共交通の便が良くないから」「買い物が不便であるから」「雇用環境が悪く、働く機会に恵まれていないから」が比較的高くなっている。

●平成26年度調査では「買い物が不便であるから」が42.4%であったが、平成30年度調査では31.9%となっている。

<その他の主な内容>

・「除雪が大変」「寒いから」「映画館がないから」など。

問5 どこに引越したいと思いますか。

<回答者条件> 今後、「恵庭市外に引越したい」と回答した人

n=

92



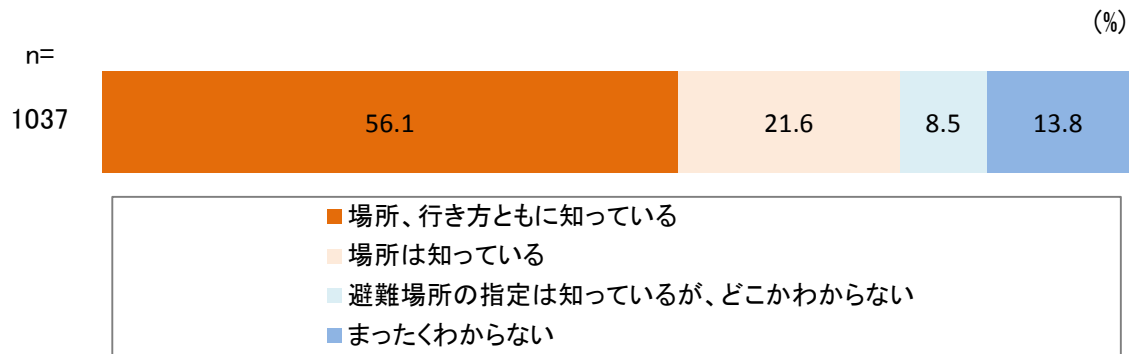
■ 道内(札幌圏) ■ 道内(札幌圏以外) ■ 道外 ■ 具体的にわからない

◎引越したいと回答した人に、どこに引越したいかを聞いたところ、「道内(札幌圏)」が 57.6%と最も高くなっている。

・性別にみると、女性では「道外」が 24.1%と男性に比べ高くなっている。

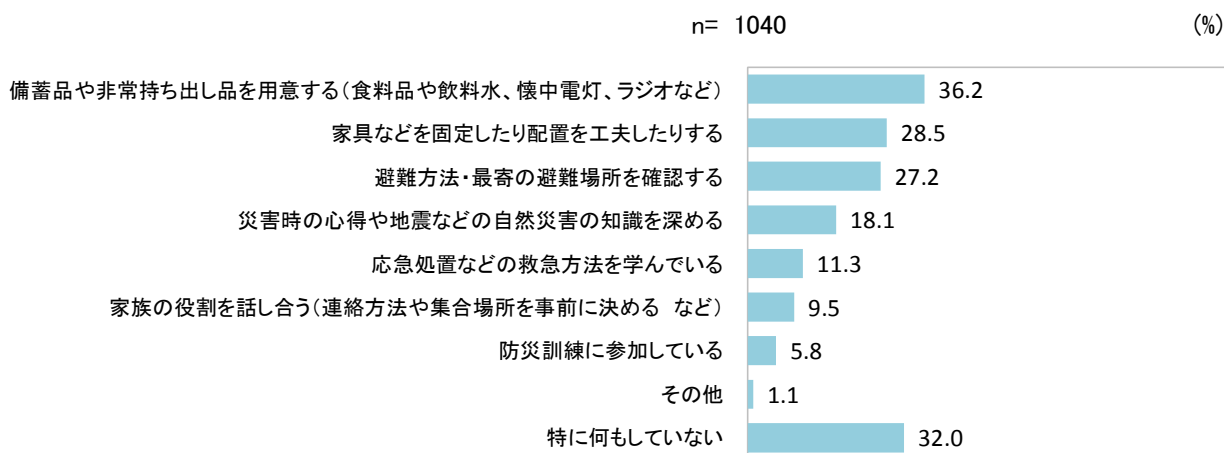
2.3. 恵庭市での暮らしについて

問6 災害時における、お近くの避難場所をご存知ですか。



- ◎災害時における近所の避難場所について聞いたところ、「場所、行き方ともに知っている」は56.1%、「場所は知っている」は21.6%となっている。
- ・年代別にみると、30歳代以下では「場所、行き方ともに知っている」が40%台と40歳代以上に比べ低くなっている。
 - ・職業別にみると、自営業、会社員、学生・専門学校生では「場所、行き方ともに知っている」が50%前後と他の職業に比べ低くなっている。
 - ・家族構成別にみると、三世帯世帯（親と子と孫）では「場所、行き方ともに知っている」は63.8%と他の家族構成に比べ高くなっている。
 - ・居住地域別にみると、柏小学校区では「場所、行き方ともに知っている」は38.5%と他の居住地域に比べ低くなっている。
 - ・恵庭市在住通算年別にみると、5年未満では「場所、行き方ともに知っている」が37.7%と5年以上に比べ低くなっている。
 - ・住居形態別にみると、民間の借家・アパート・賃貸マンション等では「場所、行き方ともに知っている」が44.1%と持ち家（分譲マンション含む）に比べ低くなっている。

問7 災害などの非常時に備えてどのような対策をとっていますか。



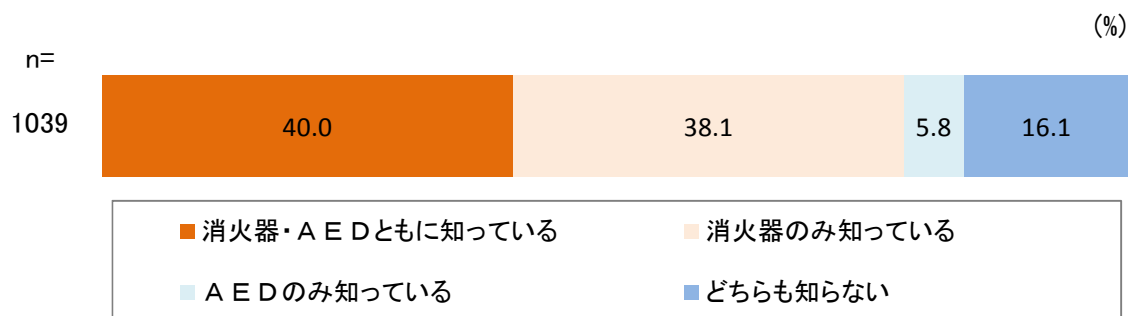
◎災害時などの非常時の対策については、「備蓄品や非常持ち出し品を用意する（食料品や飲料水、懐中電灯、ラジオなど）」が36.2%で最も高く、次いで「家具などを固定したり配置を工夫したりする」が28.5%、「避難方法・最寄の避難場所を確認する」が27.2%となっている。一方、「特に何もしていない」と回答した割合は32.0%となっている。

- 年代別にみると、60歳代以上では「備蓄品や非常持ち出し品を用意する（食料品や飲料水、懐中電灯、ラジオなど）」「家具などを固定したり配置を工夫したりする」「避難方法・最寄の避難場所を確認する」等の項目で50歳代以下に比べ高くなっている。一方、40代以下では「特に何もしていない」が40%台と50歳代以上に比べ高くなっている。
- 家族構成別にみると、一世代世帯（夫婦だけ）では「備蓄品や非常持ち出し品を用意する（食料品や飲料水、懐中電灯、ラジオなど）」が45.9%、「家具などを固定したり配置を工夫したりする」が35.1%と他の家族構成に比べ高くなっている。
- 恵庭市在住通算年別にみると、5年未満では「避難方法・最寄の避難場所を確認する」が11.5%と5年以上に比べ低くなっている。
- 現住所以前の住所別にみると、道外では「備蓄品や非常持ち出し品を用意する（食料品や飲料水、懐中電灯、ラジオなど）」が43.3%と他の層に比べ高くなっている。
- 住居形態別にみると、民間の借家・アパート・賃貸マンション等では「特に何もしていない」が45.3%と持ち家（分譲マンション含む）に比べ高くなっている。

<その他の主な内容>

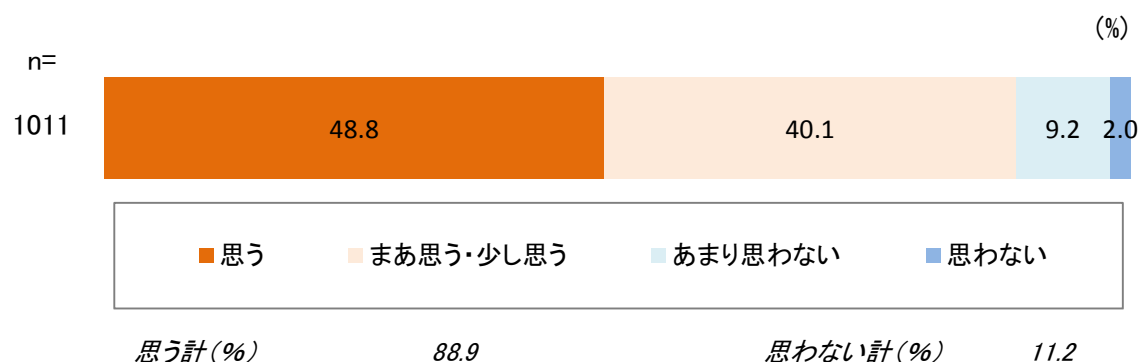
- 「飲料水を用意している」「非常用発電機を購入した」など様々。

問8 消火器やAEDの使用方法をご存知ですか。



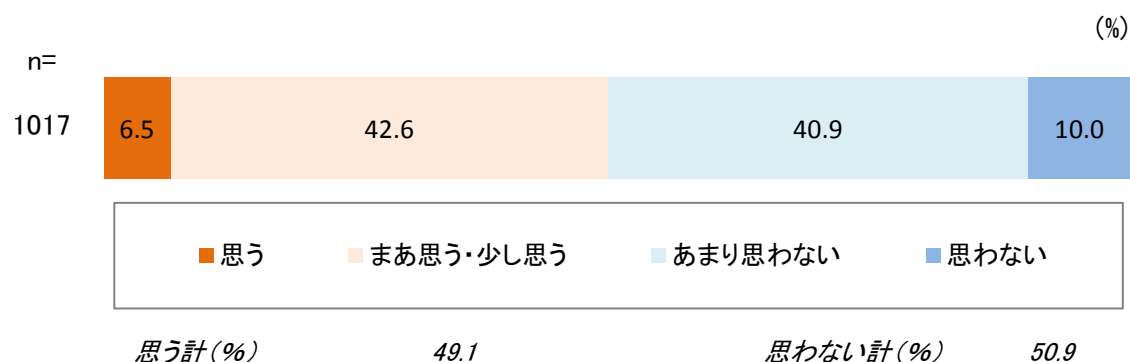
- ◎消火器やAEDの使用方法の認知については、「消火器・AEDともに知っている」は40.0%、「消火器のみ知っている」は38.1%、「AEDのみ知っている」は5.8%となっている。一方、「どちらも知らない」と回答した割合は16.1%となっている。
- ・性別にみると、女性では「消火器・AEDともに知っている」が32.2%と男性に比べ低くなっている。
 - ・年代別にみると、60歳代以上では「消火器・AEDともに知っている」が約30%と50歳代以下に比べ低くなっている。
 - ・職業別にみると、公務員・団体職員では「消火器・AEDともに知っている」が81.5%と他の職業に比べ高くなっている。
 - ・通勤・通学先別にみると、北広島では「消火器・AEDともに知っている」が69.7%と他の通勤・通学先に比べ高くなっている。
 - ・居住地域別にみると、若草小学校区では「消火器・AEDともに知っている」は32.5%と他の居住地域に比べ低くなっている。
 - ・恵庭市在住通算年別にみると、10年未満では「消火器・AEDともに知っている」は50%以上と10年以上に比べ高くなっている。
 - ・住居形態別にみると、民間の借家・アパート・賃貸マンション等では「消火器・AEDともに知っている」が46.2%と持ち家（分譲マンション含む）に比べ高くなっている。

問9 障がいのある方が日常生活の困りごとを感じていると思いますか。



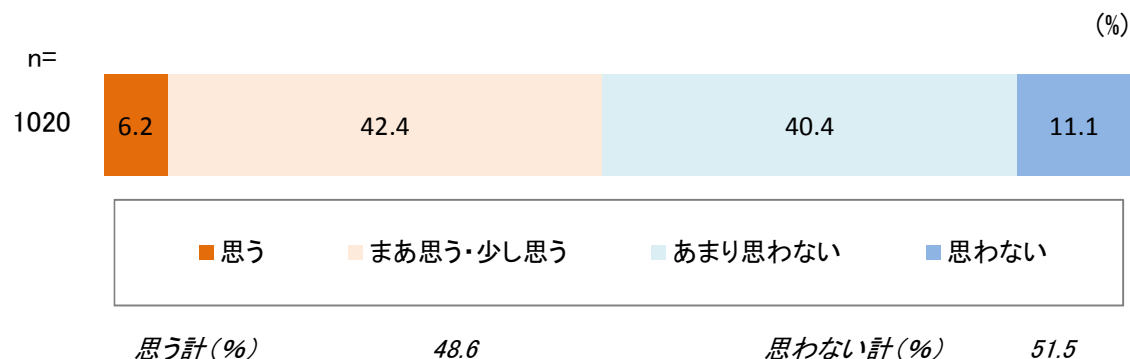
- ◎障がいのある方が日常生活の困りごとを感じているかについては、「思う」（48.8%）、「まあ思う・少し思う」（40.1%）となっており、合わせた88.9%の人が＜障がいのある方が日常生活の困りごとを感じていると思う＞と回答している。
- ・性別にみると、女性では＜障がいのある方が日常生活の困りごとを感じていると思う＞と回答した割合が91.4%と男性に比べ高くなっている。
 - ・年代別にみると、50歳代で＜障がいのある方が日常生活の困りごとを感じていると思う＞と回答した割合が94.7%と他の年代に比べ高くなっている。
 - ・家族構成別にみると、一世代世帯（夫婦だけ）では「思う」が54.5%と他の家族構成に比べ高くなっている。
 - ・居住地域別にみると、柏小学校区では「思う」が54.9%と他の居住地域に比べ高くなっている。
 - ・住居形態別にみると、持ち家（分譲マンション含む）では「思う」が49.9%と民間の借家・アパート・賃貸マンション等に比べ高くなっている。

問10 恵庭市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉ができていますか。



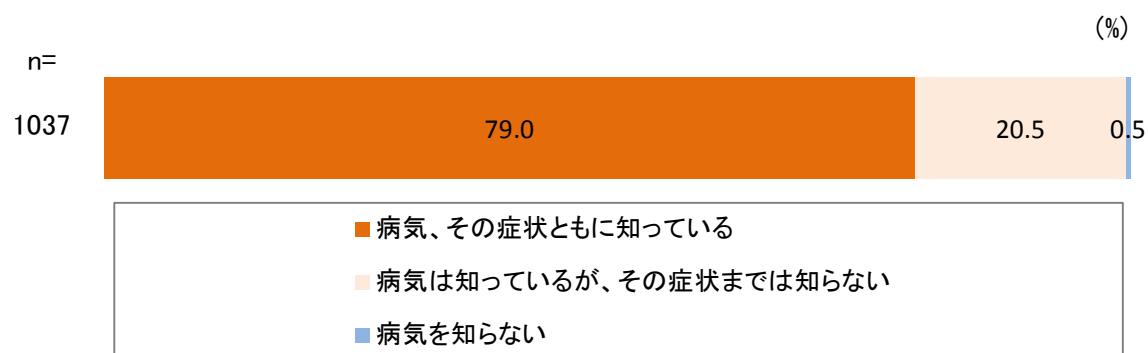
- ◎恵庭市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉ができていますかについては、「思う」（6.5%）、「まあ思う・少し思う」（42.6%）となっており、合わせた49.1%の人が「恵庭市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉ができています」と回答している。
- ・年代別にみると、40歳代で「恵庭市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉ができています」と回答した割合が40.1%と他の年代に比べ低くなっている。
 - ・居住地域別にみると、若草小学校区では「恵庭市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉ができています」と回答した割合が33.3%と他の居住地域に比べ低くなっている。
 - ・恵庭市在住通算年別にみると、5年以上10年未満では「恵庭市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉ができています」と回答した割合が59.5%と他の層に比べ高くなっている。
 - ・住居形態別にみると、民間の借家・アパート・賃貸マンション等では「恵庭市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉ができています」と回答した割合が44.8%と持ち家（分譲マンション含む）に比べ低くなっている。
- 平成26年度調査では「恵庭市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉ができています」と回答した割合が41.2%であったが、平成30年度調査では49.1%となっている。

問11 高齢者や障がい者にとって住みよいまちづくりができていますか。



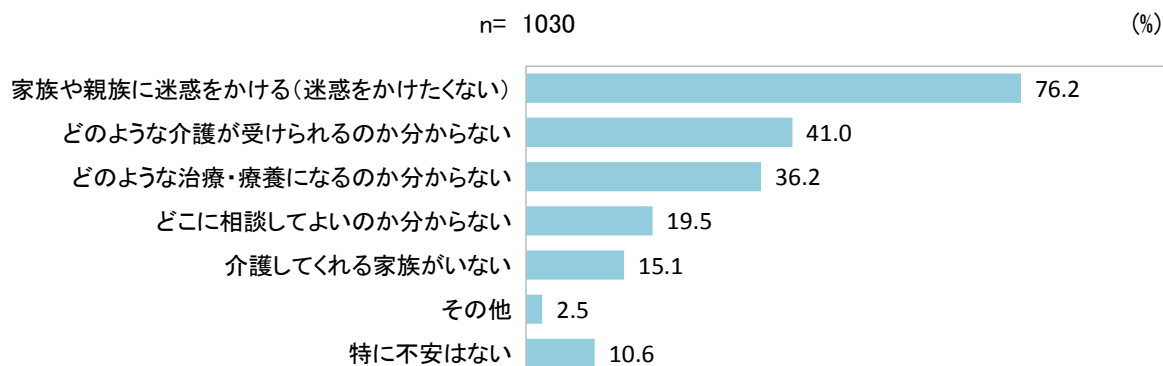
- ◎高齢者や障がい者にとって住みよいまちづくりができていますかについては、「思う」(6.2%)、「まあ思う・少し思う」(42.4%)となっており、合わせた48.6%の人が「高齢者や障がい者にとって住みよいまちづくりができていますか」と回答している。
- ・年代別にみると、40歳代で「高齢者や障がい者にとって住みよいまちづくりができていますか」と回答した割合が43.5%と他の年代に比べ低くなっている。
 - ・居住地域別にみると、若草小学校区では「高齢者や障がい者にとって住みよいまちづくりができていますか」と回答した割合が23.1%と他の居住地域に比べ低くなっている。
 - ・恵庭市在住通算年別にみると、5年以上10年未満では「高齢者や障がい者にとって住みよいまちづくりができていますか」と回答した割合が54.0%と他の層に比べ高くなっている。
- 平成26年度調査では「高齢者や障がい者にとって住みよいまちづくりができていますか」と回答した割合が40.2%であったが、平成30年度調査では48.6%となっている。

問12 認知症についてご存知ですか。



- ◎認知症の認知については、「病気、その症状ともに知っている」は79.0%、「病気は知っているが、その症状までは知らない」は20.5%、「病気を知らない」は0.5%となっている。
- ・家族構成別にみると、単身世帯では「病気、その症状ともに知っている」は72.5%と他の家族構成に比べ低くなっている。
 - ・住居形態別にみると、持ち家（分譲マンション含む）では「病気、その症状ともに知っている」が80.8%と民間の借家・アパート・賃貸マンション等に比べ高くなっている。

問13 認知症に不安を感じていることはありますか。



◎認知症に対する不安については、「家族や親族に迷惑をかける（迷惑をかけたくない）」が 76.2% で最も高く、次いで「どのような介護が受けられるのか分からない」が 41.0%、「どのような治療・療養になるのか分からない」が 36.2%となっている。

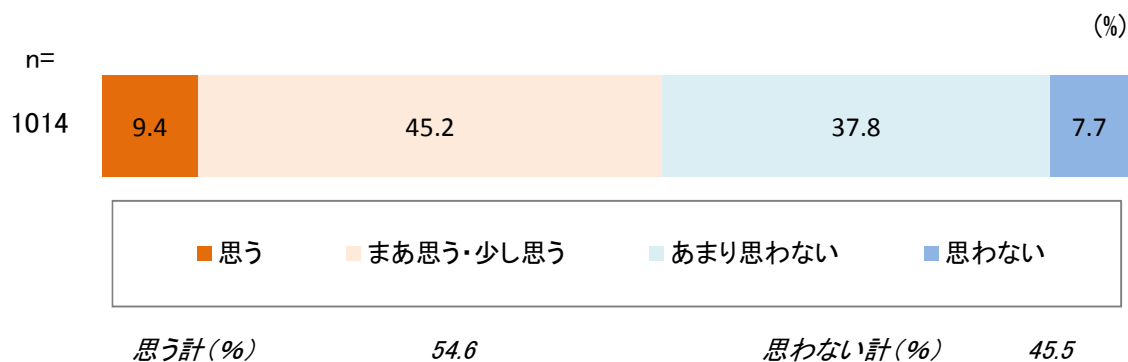
- ・年代別にみると、40～50 歳代では「どのような介護が受けられるのか分からない」、70 歳代上では「どのような治療・療養になるのか分からない」が他の年代に比べ高くなっている。
- ・家族構成別にみると、単身世帯では「介護してくれる家族がない」が 48.8%と他の家族構成に比べ高くなっている。
- ・居住地域別にみると、柏小学校区では「どのような介護が受けられるのか分からない」が 54.0%と他の居住地域に比べ高くなっている。
- ・現住所以前の住所別にみると、道外では「どこに相談してよいのか分からない」が 25.6%と他の層に比べ高くなっている。
- ・住居形態別にみると、民間の借家・アパート・賃貸マンション等では「介護してくれる家族がない」が 20.9%と持ち家（分譲マンション含む）に比べ高くなっている。

<その他の主な内容>

- ・「費用が心配」「施設が少ない」「身内がないから不安」など様々。

2.4. 子ども、教育、文化、スポーツについて

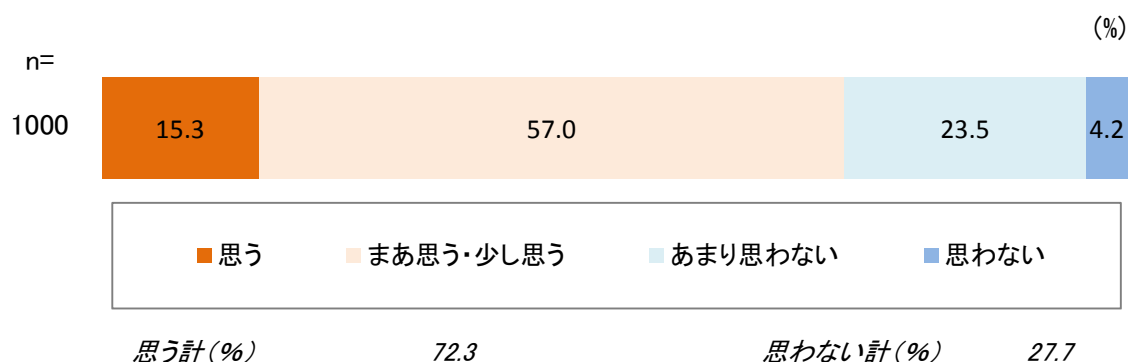
問14 恵庭市が市民のふるさと意識が高いまちだと思いますか。



◎恵庭市が市民のふるさと意識が高いまちだと思うかについては、「思う」(9.4%)、「まあ思う・少し思う」(45.2%)となっており、合わせた54.6%の人が「恵庭市が市民のふるさと意識が高いまちだと思う」と回答している。

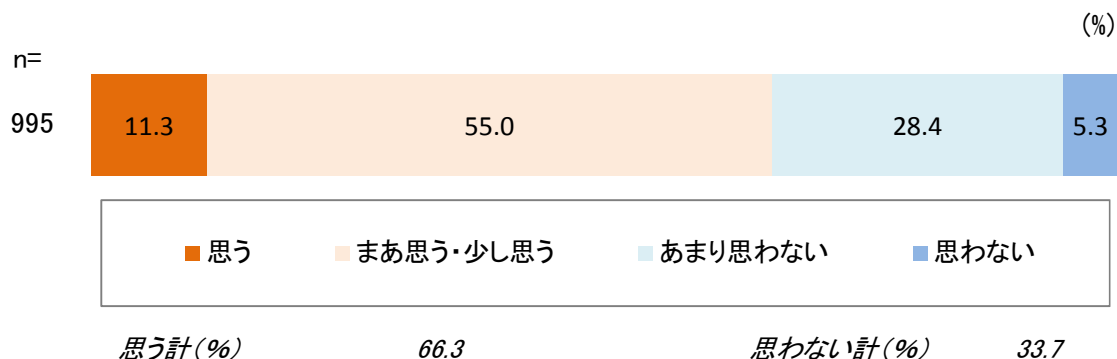
- ・年代別にみると、20歳代では「恵庭市が市民のふるさと意識が高いまちだと思う」と回答した割合が62.3%と他の年代に比べ高くなっている。
 - ・職業別にみると、自営業で「恵庭市が市民のふるさと意識が高いまちだと思う」と回答した割合が73.3%と他の職業に比べ高くなっている。
 - ・家族構成別にみると、三世帯世帯（親と子と孫）では「恵庭市が市民のふるさと意識が高いまちだと思う」と回答した割合が68.1%と他の家族構成に比べ高くなっている。
 - ・居住地域別にみると、若草小学校区では「恵庭市が市民のふるさと意識が高いまちだと思う」と回答した割合が38.4%と他の居住地域に比べ低くなっている。
 - ・恵庭市在住通算年別にみると、5年以上10年未満では「恵庭市が市民のふるさと意識が高いまちだと思う」と回答した割合が60.3%と他の層に比べ高くなっている。
 - ・現住所以前の住所別にみると、道内（札幌圏）では「恵庭市が市民のふるさと意識が高いまちだと思う」と回答した割合が60.1%と他の層に比べ高くなっている。
- 平成26年度調査では「恵庭市が市民のふるさと意識が高いまちだと思う」と回答した割合が44.8%であったが、平成30年度調査では54.6%となっている。

問15 恵庭市の地域で子育て支援や子どもの育成のための取り組みが行われていると思いますか。



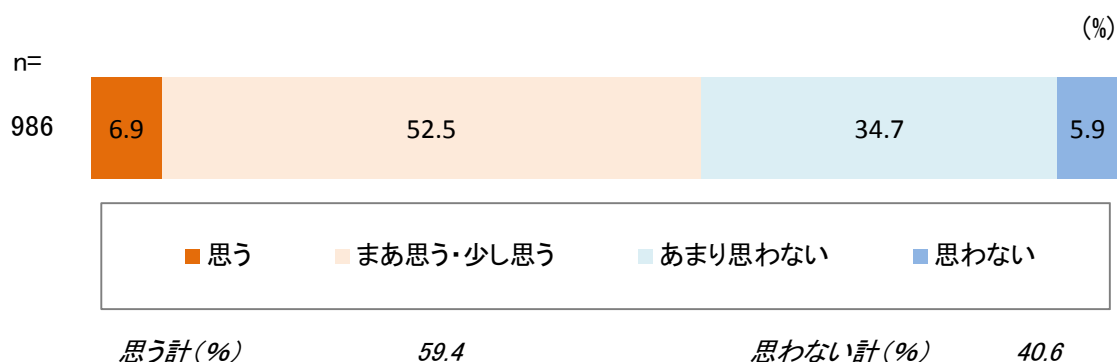
- ◎恵庭市の地域で子育て支援や子どもの育成のための取り組みが行われていると思うかについては、「思う」（15.3%）、「まあ思う・少し思う」（57.0%）となっており、合わせた72.3%の人が「恵庭市の地域で子育て支援や子どもの育成のための取り組みが行われていると思う」と回答している。
- ・性別にみると、女性では「恵庭市の地域で子育て支援や子どもの育成のための取り組みが行われていると思う」と回答している人が76.3%と男性に比べ高くなっている。
 - ・世帯構成別にみると、単身世帯では「恵庭市の地域で子育て支援や子どもの育成のための取り組みが行われていると思う」と回答した割合が64.9%と他の家族構成に比べ低くなっている。
 - ・居住地域別にみると、若草小学校区では「恵庭市の地域で子育て支援や子どもの育成のための取り組みが行われていると思う」と回答した割合が56.7%と他の居住地域に比べ低くなっている。
 - ・恵庭市在住通算年別にみると、5年未満では「恵庭市の地域で子育て支援や子どもの育成のための取り組みが行われていると思う」と回答した割合が60.5%と5年以上に比べ低くなっている。
 - ・住居形態別にみると、民間の借家・アパート・賃貸マンション等では「恵庭市の地域で子育て支援や子どもの育成のための取り組みが行われていると思う」と回答した割合が57.6%と持ち家（分譲マンション含む）に比べ低くなっている。
- 平成26年度調査では「恵庭市の地域で子育て支援や子どもの育成のための取り組みが行われていると思う」と回答した割合が60.7%であったが、平成30年度調査では72.3%となっている。

問16 恵庭市の子育て環境(施設、事業、支援)が整っていると思いますか。



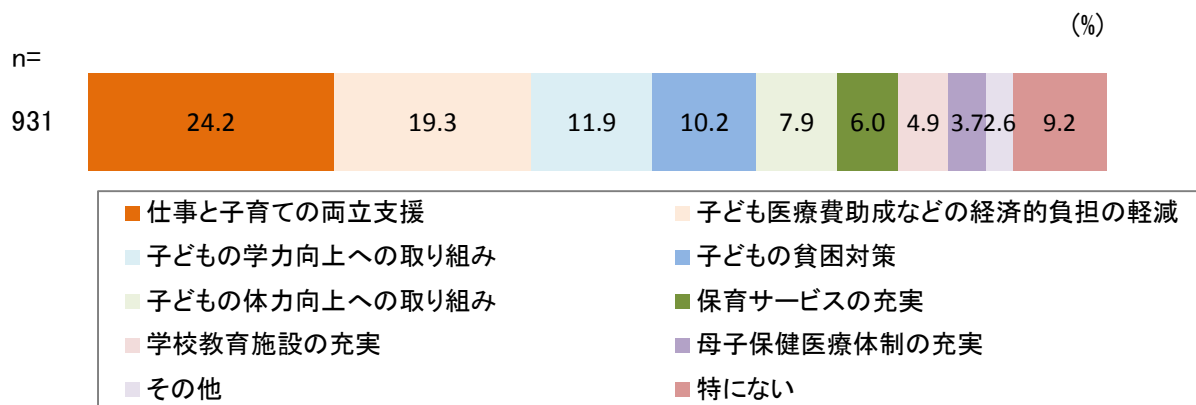
- ◎恵庭市の子育て環境（施設、事業、支援）が整っていると思うかについては、「思う」（11.3%）、「まあ思う・少し思う」（55.0%）となっており、合わせた66.3%の人が「恵庭市の子育て環境（施設、事業、支援）が整っていると思う」と回答している。
- ・性別にみると、女性では「恵庭市の子育て環境（施設、事業、支援）が整っていると思う」と回答している人が68.7%と男性に比べ高くなっている。
 - ・居住地域別にみると、若草小学校区、島松小学校区では「恵庭市の子育て環境（施設、事業、支援）が整っていると思う」と回答した割合が58%と他の居住地域に比べ低くなっている。
 - ・住居形態別にみると、民間の借家・アパート・賃貸マンション等では「恵庭市の子育て環境（施設、事業、支援）が整っていると思う」と回答した割合が56.7%と持ち家（分譲マンション含む）に比べ低くなっている。
- 平成26年度調査では「恵庭市の子育て環境（施設、事業、支援）が整っていると思う」と回答した割合が61.1%であったが、平成30年度調査では66.3%となっている。

問17 恵庭市が子育て世代にとって子育てに関する各種情報が入手しやすいと思いますか。



- ◎恵庭市が子育て世代にとって子育てに関する各種情報が入手しやすいと思うかについては、「思う」（6.9%）、「まあ思う・少し思う」（52.5%）となっており、合わせた59.4%の人が「恵庭市が子育て世代にとって子育てに関する各種情報が入手しやすいと思う」と回答している。
- ・性別にみると、女性では「恵庭市が子育て世代にとって子育てに関する各種情報が入手しやすいと思う」と回答した割合が62.3%と男性に比べ高くなっている。
 - ・年代別にみると、20～40歳代では「恵庭市が子育て世代にとって子育てに関する各種情報が入手しやすいと思う」と回答した割合が50%台と50歳代以上に比べ低くなっている。
 - ・家族構成別にみると、三世帯世帯（親と子と孫）では「恵庭市が子育て世代にとって子育てに関する各種情報が入手しやすいと思う」と回答した割合が50.0%と他の家族構成に比べ低くなっている。
 - ・居住地域別にみると、若草小学校区では「恵庭市が子育て世代にとって子育てに関する各種情報が入手しやすいと思う」と回答した割合が40.5%と他の居住地域に比べ低くなっている。
 - ・住居形態別にみると、民間の借家・アパート・賃貸マンション等では「恵庭市が子育て世代にとって子育てに関する各種情報が入手しやすいと思う」と回答した割合が46.4%と持ち家（分譲マンション含む）に比べ低くなっている。
- 平成26年度調査では「恵庭市が子育て世代にとって子育てに関する各種情報が入手しやすいと思う」と回答した割合が49.3%であったが、平成30年度調査では59.4%となっている。

問18 子ども・子育てに関する施策で今後、特に重点をおいて取り組んで欲しいと思うことは何ですか。

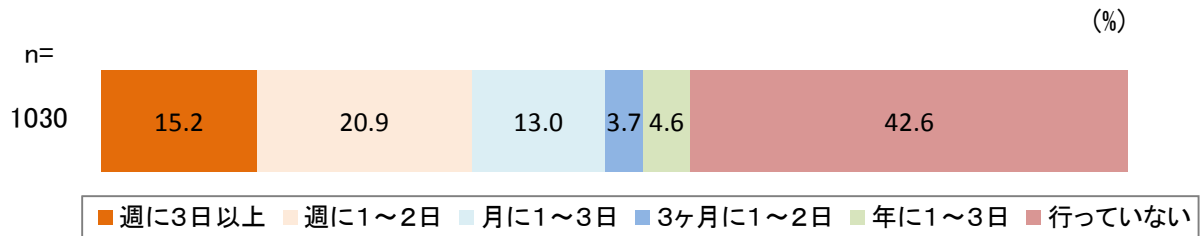


- ◎子ども・子育てに関する施策で今後、特に重点をおいて取り組んで欲しいと思うことについては、「仕事と子育ての両立支援」が24.2%で最も高く、次いで「子ども医療費助成などの経済的負担の軽減」が19.3%となっている。
- ・性別にみると、女性では「仕事と子育ての両立支援」が26.3%と男性に比べ高くなっている。
 - ・年代別にみると、20～40歳代では「子ども医療費助成などの経済的負担の軽減」が27～29%と他の年代に比べ高くなっている。
 - ・家族構成別にみると、三世帯世帯（親と子と孫）では「子ども医療費助成などの経済的負担の軽減」が34.9%と他の家族構成に比べ高くなっている。
 - ・恵庭市在住通算年別にみると、20年以上では「仕事と子育ての両立支援」が28%と20年未満に比べ高くなっている。

<その他の主な内容>

- ・「子育ての手当の充実」「いじめの対策」など様々。

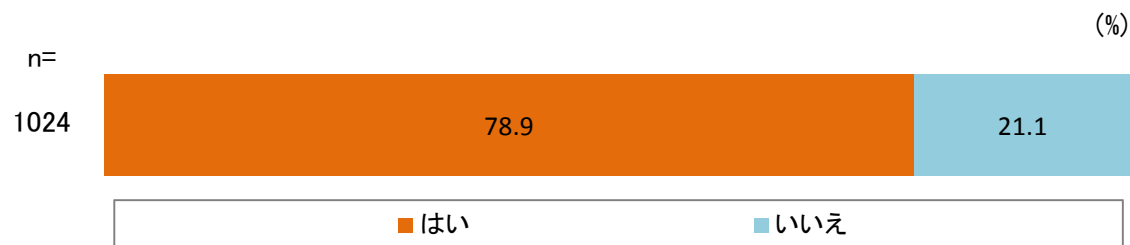
問19 この一年で運動やスポーツ活動をどのくらいの頻度で行いましたか。



◎最近一年の運動やスポーツ活動の頻度については、「週に1~2日」が20.9%で最も高く、次いで「週に3日以上」が15.2%となっている。一方、「行っていない」と回答した割合は42.6%となっている。

- ・性別にみると、女性では「行っていない」が50.4%と男性に比べ高くなっている。
- ・年代別に30歳代以上に限ってみると、高齢層ほど「週に3日以上」が高くなっている。
- ・家族構成別にみると、一世代世帯（夫婦だけ）では「週に1~2日」が27.7%と他の家族構成に比べ高くなっている。
- ・住居形態別にみると、民間の借家・アパート・賃貸マンション等では「行っていない」が49.1%と持ち家（分譲マンション含む）に比べ高くなっている。

問20 あなたは、今いきがいを感じていますか。



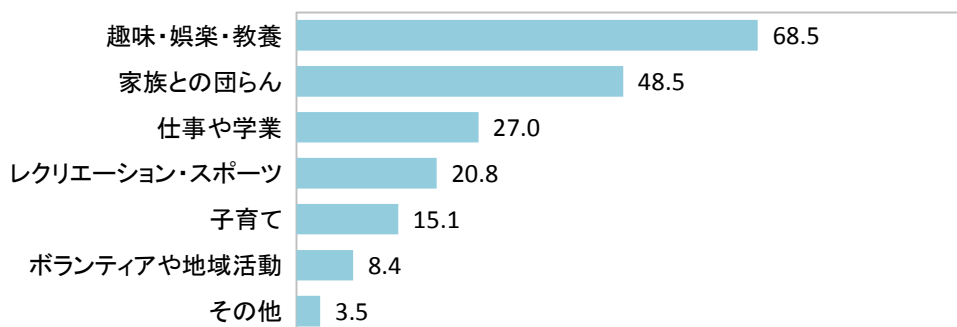
- ◎今いきがいを感じているかについては、「はい」（感じている）が 78.9%、「いいえ」（感じていない）が 21.1%となっている。
- ・家族構成別にみると、一世代世帯（夫婦だけ）では「はい」（感じている）が 84.8%と他の家族構成に比べ高くなっている。
 - ・居住地別にみると、恵み野小・恵み野旭小学校区、島松小学校区では「はい」（感じている）が 80%以上と他の居住地に比べ高くなっている。
 - ・恵庭市在住通算年別にみると、10年未満では「はい」（感じている）が 80%台と 10年以上に比べ高くなっている。
 - ・住居形態別にみると、民間の借家・アパート・賃貸マンション等では「はい」（感じている）が 74.8%と持ち家（分譲マンション含む）に比べ低くなっている。

問21 どのようなことでいきがいを感じますか。

<回答者条件>「今、いきがいを感じている」と回答した人

n= 806

(%)



◎いきがいを感じていると回答した人に、どのようなことでいきがいを感じているか聞いたところ、「趣味・娯楽・教養」が 68.5%で最も高く、次いで「家族との団らん」が 48.5%となっている。

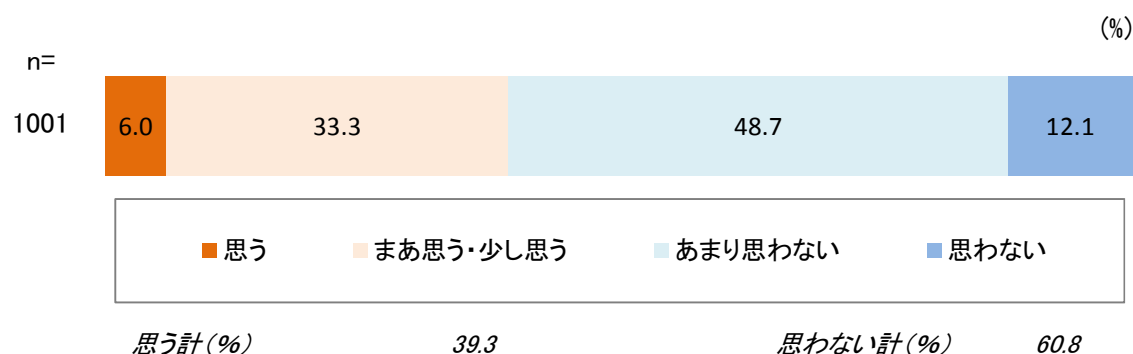
- ・性別にみると、男性では「レクリエーション・スポーツ」、女性では「子育て」が比較的高くなっている。
- ・年代別にみると、30～50歳代では「家族との団らん」が他の年代に比べ高くなっている。
- ・家族構成別にみると、単身世帯では「趣味・娯楽・教養」、二世帯世帯（親と子）では「子育て」、三世帯世帯（親と子と孫）では「家族との団らん」「仕事や学業」が他の家族構成に比べ高くなっている。
- ・恵庭市在住通算年別にみると、10年未満では「子育て」が40%前後と10年以上に比べ高くなっている。
- ・住居形態別にみると、民間の借家・アパート・賃貸マンション等では「家族との団らん」が64.0%と持ち家（分譲マンション含む）に比べ高くなっている。
- 平成26年度調査では「家族との団らん」が61.9%であったが、平成30年度調査では48.5%となっている。

<その他の主な内容>

- ・「孫の成長」「旅行」など様々。

2.5. 産業、農業、経済、観光について

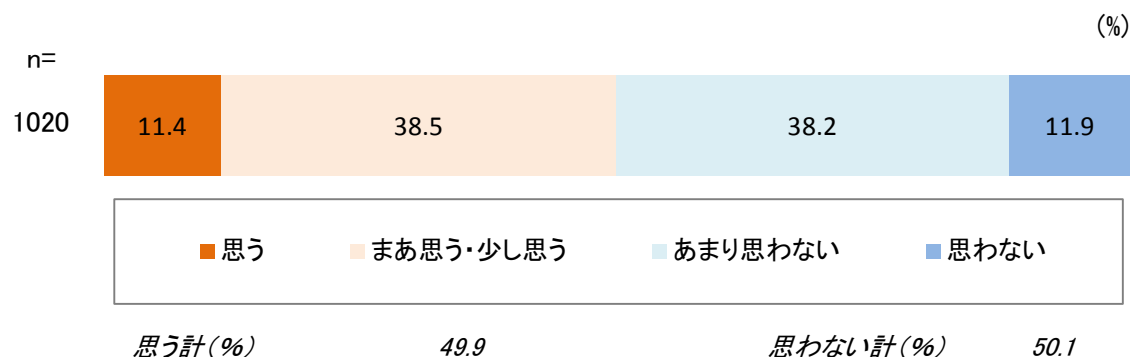
問22 恵庭市が障がいのある方や高齢者を含めて様々な立場の人の就労の場があるまちだと思いませんか。



◎恵庭市が障がいのある方や高齢者を含めて様々な立場の人の就労の場があるまちだと思うかについては、「思う」(6.0%)、「まあ思う・少し思う」(33.3%)となっており、合わせた 39.3%の人が「恵庭市が障がいのある方や高齢者を含めて様々な立場の人の就労の場があるまちだと思う」と回答している。

- 性別にみると、女性では「恵庭市が障がいのある方や高齢者を含めて様々な立場の人の就労の場があるまちだと思う」と回答した割合が 41.2%と男性に比べ高くなっている。
- 年代別にみると、60 歳代以上では「恵庭市が障がいのある方や高齢者を含めて様々な立場の人の就労の場があるまちだと思う」と回答した割合が 30%台と 50 歳代以下に比べ低くなっている。
- 家族構成別にみると、三世帯世帯（親と子と孫）では「恵庭市が障がいのある方や高齢者を含めて様々な立場の人の就労の場があるまちだと思う」と回答した割合が 27.7%と他の家族構成に比べ低くなっている。
- 居住地域別にみると、和光小学校区では「恵庭市が障がいのある方や高齢者を含めて様々な立場の人の就労の場があるまちだと思う」と回答した割合が 30.8%と他の居住地域に比べ低くなっている。
- 恵庭市在住通算年別にみると、20 年以上では「恵庭市が障がいのある方や高齢者を含めて様々な立場の人の就労の場があるまちだと思う」と回答した割合が 36~37%と 20 年未満に比べ低くなっている。
- 平成 26 年度調査では「恵庭市が障がいのある方や高齢者を含めて様々な立場の人の就労の場があるまちだと思う」と回答した割合が 30.9%であったが、平成 30 年度調査では 39.3%となっている。

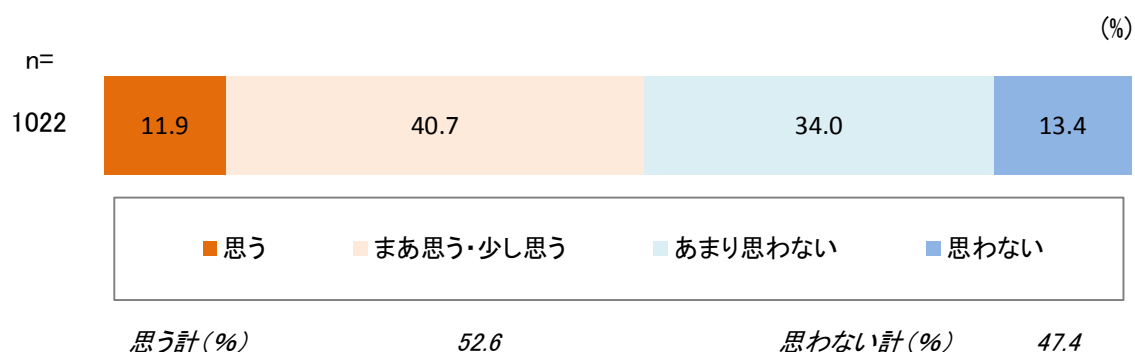
問23 恵庭市内に魅力的なお店があると思いますか。



◎恵庭市内に魅力的なお店があると思うかについては、「思う」（11.4%）、「まあ思う・少し思う」（38.5%）となっており、合わせた 49.9%の人が「恵庭市内に魅力的なお店があると思う」と回答している。

- ・性別にみると、女性では「恵庭市内に魅力的なお店があると思う」と回答した割合が 52.0%と男性に比べ高くなっている。
- ・年代別にみると、30 歳代以下では「恵庭市内に魅力的なお店があると思う」と回答した割合が 60%前後と 40 歳代以上に比べ高くなっている。
- ・家族構成別にみると、一世代世帯（夫婦だけ）では「恵庭市内に魅力的なお店があると思う」と回答した割合が 44.0%と他の家族構成に比べ低くなっている。
- ・居住地域別にみると、柏小学校区では「恵庭市内に魅力的なお店があると思う」と回答した割合が 38.5%と他の居住地域に比べ低くなっている。
- ・恵庭市在住通算年別にみると、5 年以上 10 年未満では「恵庭市内に魅力的なお店があると思う」と回答した割合が 65.8%と他の層に比べ高くなっている。
- ・現住所以前の住所別にみると、道内（札幌圏以外）では「恵庭市内に魅力的なお店があると思う」と回答した割合が 54.0%と他の層に比べ高くなっている。
- 平成 26 年度調査では「恵庭市内に魅力的なお店があると思う」と回答した割合が 43.6%であったが、平成 30 年度調査では 49.9%となっている。

問24 恵庭市外の人に恵庭市の魅力を伝えることができますか。



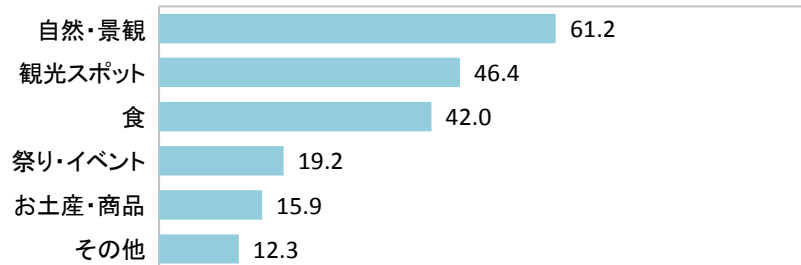
◎恵庭市外の人に恵庭市の魅力を伝えることができると思うかについては、「思う」（11.9%）、「まあ思う・少し思う」（40.7%）となっており、合わせた52.6%の人が、＜恵庭市外の人に恵庭市の魅力を伝えることができると思う＞と回答している。

- ・性別にみると、女性では＜恵庭市外の人に恵庭市の魅力を伝えることができると思う＞と回答した割合が56.2%と男性に比べ高くなっている。
- ・年代別にみると、60歳代以上では＜恵庭市外の人に恵庭市の魅力を伝えることができると思う＞と回答した割合が57%と50歳代以下に比べ高くなっている。
- ・恵庭市在住通算年別にみると、5年未満では＜恵庭市外の人に恵庭市の魅力を伝えることができると思う＞と回答した割合が46.8%と5年以上に比べ低くなっている。

問25 市外から友人や知人が訪ねてきたら、恵庭の何をおすすめしますか。

<回答者条件>「恵庭市外の人に恵庭市の魅力を伝えることができる」と回答した人
n= 521

(%)



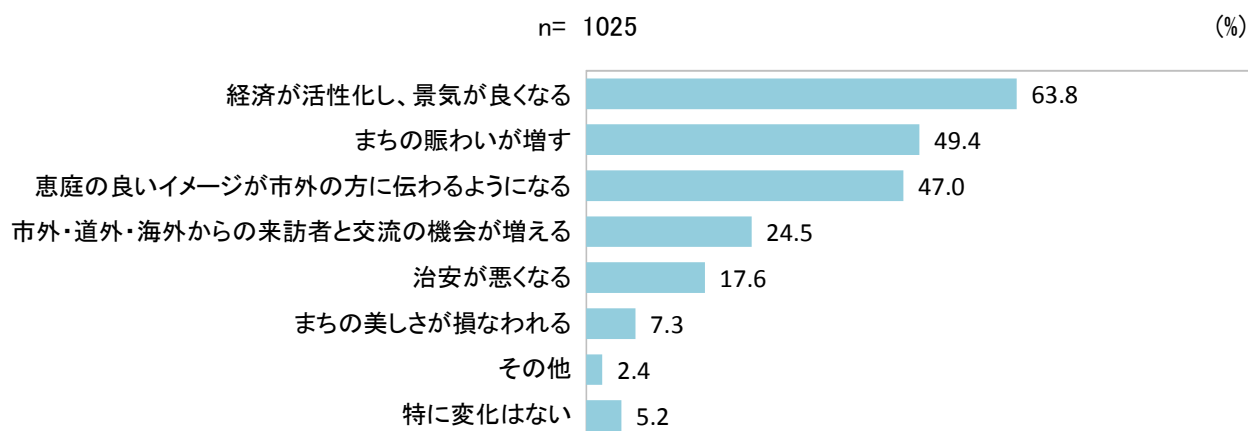
◎恵庭市外の人に恵庭市の魅力を伝えることができると回答した人に、市外から友人や知人が訪ねてきたら、恵庭の何をおすすめするか聞いたところ、「自然・景観」が61.2%で最も高く、次いで「観光スポット」が46.4%、「食」が42.0%となっている。具体的には、「自然・景観」では「白扇の滝」「恵庭溪谷」「花」「ガーデニング」、「観光スポット」では「えこりん村」「道の駅」「恵庭溪谷」「白扇の滝」、「食」では「新鮮な野菜」「アスパラ」「カボチャ」といった意見が挙げられた。

- ・性別にみると、20～40歳代では「食」が他の年代に比べ高くなっている。
- ・家族構成別にみると、三世帯世帯（親と子と孫）では「観光スポット」が66.7%と他の家族構成に比べ高くなっている。
- ・居住地域別にみると、恵庭小学校区では「観光スポット」、和光小学校区では「食」、島松小学校区では「食」「祭り・イベント」が他の居住地域に比べ高くなっている。
- ・恵庭市在住通算年別にみると、5年未満では「食」が57.6%と5年以上に比べ高くなっている。
- ・現住所以前の住所別にみると、道外では「自然・景観」「食」「お土産・商品」が他の層に比べ高くなっている。
- ・住居形態別にみると、民間の借家・アパート・賃貸マンション等では「食」が61.5%と持ち家（分譲マンション含む）に比べ高くなっている。

<自由回答の主な内容>

- ・【食】「新鮮な野菜」「アスパラ」「カボチャ」など
- ・【観光スポット】「えこりん村」「道の駅」「恵庭溪谷」「白扇の滝」など
- ・【祭り・イベント】「花火大会」「おんこ祭り」「すずらん踊り」「花とくらし展」など
- ・【自然・景観】「白扇の滝」「恵庭溪谷」「花」「ガーデニング」など
- ・【土産・商品】「かぼちゃプリン」「えびすかぼちゃ」など
- ・【その他】「ガーデニング」「花のまち」「道の駅」「空港、札幌に近い」など

問26 観光客が多く訪れることにより、どのような変化がおこると思いますか。



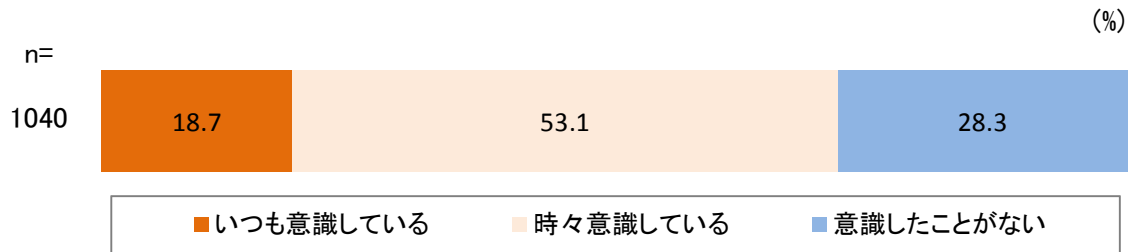
◎観光客が多く訪れることによる変化について、「経済が活性化し、景気が良くなる」が63.8%で最も高く、次いで「まちの賑わいが増す」が49.4%、「恵庭の良いイメージが市外の方に伝わるようになる」が47.0%となっている。一方、「治安が悪くなる」(17.6%)、「まちの美しさが損なわれる」(7.3%)といった否定的な意見も挙げられた。

- 年代別にみると、40～50歳代では「経済が活性化し、景気が良くなる」が70%以上と他の年代に比べ高くなっている。
- 居住地域別にみると、恵庭小学校区では「まちの賑わいが増す」が59.8%と他の居住地域に比べ高くなっている。
- 恵庭市在住通算年別にみると、5年未満では「経済が活性化し、景気が良くなる」「まちの賑わいが増す」が5年以上に比べ高くなっている。
- 現住所以前の住所別にみると、道外では「市外・道外・海外からの来訪者と交流の機会が増える」が30.4%と他の層に比べ高くなっている。

<その他の主な内容>

- 「交通渋滞」「若い人が集まる」「観光関連の施設整備が進む」など様々。

問28 農畜産物を購入するときに恵庭産であることを意識していますか。

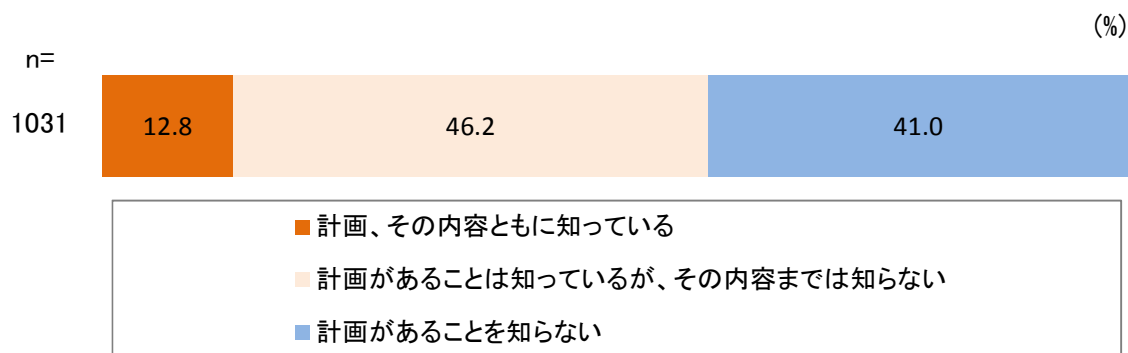


◎農畜産物を購入するときに恵庭産であることを意識しているかについては、「いつも意識している」は18.7%、「時々意識している」は53.1%となっている。一方、「意識したことがない」は28.3%となっている。

- ・性別にみると、女性では「意識したことがない」が22.3%と男性に比べ低くなっている。
- ・年代別にみると、60歳代以上で「いつも意識している」が20%以上と50歳代以下に比べ高くなっている。
- ・職業別にみると、専業主婦・主夫では「意識したことがない」が15.4%と他の職業に比べ低くなっている。
- ・家族構成別にみると、一世代世帯（夫婦だけ）では「意識したことがない」が17.9%と他の居住地域に比べ低くなっている。
- ・居住地域別にみると、恵み野小・恵み野旭小学校区では「意識したことがない」が24.8%と他の居住地域に比べ低くなっている。
- ・恵庭市在住通算年別にみると、5年未満では「意識したことがない」が44.9%と5年以上に比べ高くなっている。
- ・住居形態別にみると、民間の借家・アパート・賃貸マンション等では「意識したことがない」が41.0%と持ち家（分譲マンション含む）に比べ高くなっている。

2.6. 都市基盤、生活環境、自然環境について

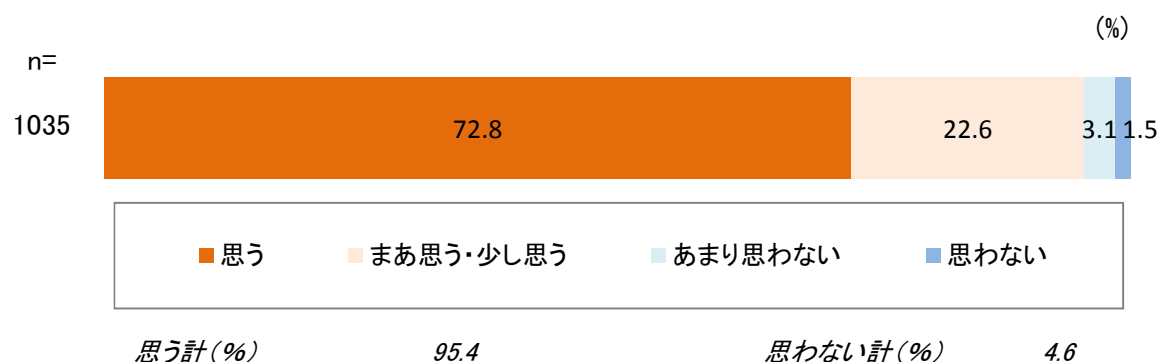
問29 あなたは、安心して暮らせる冬の生活環境をつくるために、除雪や排雪の仕組みをきめた計画（恵庭市雪対策基本計画）があることを知っていますか。次の中から選んでください。



◎除雪や排雪の仕組みをきめた計画（恵庭市雪対策基本計画）の認知については、「計画、その内容とも知っている」は 12.8%、「計画があることは知っているが、その内容までは知らない」は 46.2%、「計画があることを知らない」は 41.0%となっている。

- ・年代別にみると、高齢層ほど「計画、その内容とも知っている」が高くなっている。
 - ・家族構成別にみると、単身世帯、一世代世帯（夫婦だけ）では「計画があることを知らない」が 30%台と他の家族構成に比べ低くなっている。
 - ・居住地域別にみると、柏小学校区では「計画があることを知らない」が 53.8%と他の居住地域に比べ高くなっている。
 - ・恵庭市在住通算年別にみると、30 年以上では「計画があることを知らない」が 31.2%と 30 年未満に比べ低くなっている。
 - ・住居形態別にみると、民間の借家・アパート・賃貸マンション等では「計画があることを知らない」が 56.9%と持ち家（分譲マンション含む）に比べ高くなっている。
- 平成 26 年度調査では「計画があることを知らない」が 54.4%であったが、平成 30 年度調査では 41.0%となっている。

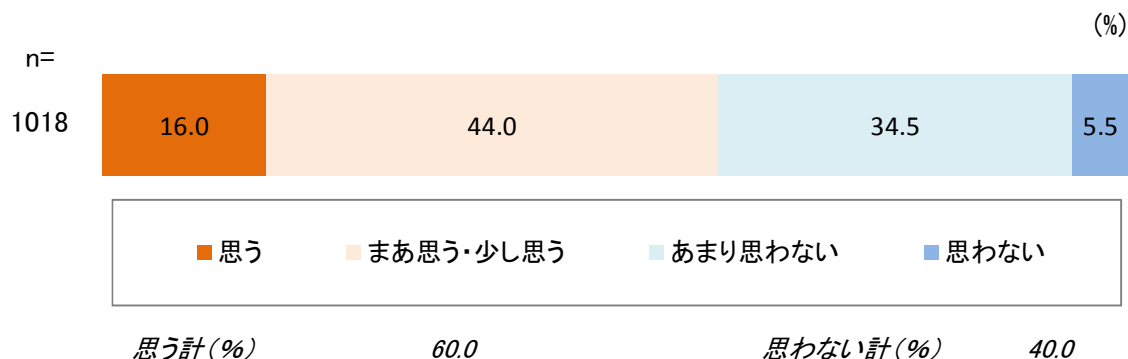
問30 水道水の安定供給が行われていると思いますか。



◎水道水の安定供給が行われていると思うかについては、「思う」（72.8%）、「まあ思う・少し思う」（22.6%）となっており、合わせた 95.4%の人が「水道水の安定供給が行われていると思う」と回答している。

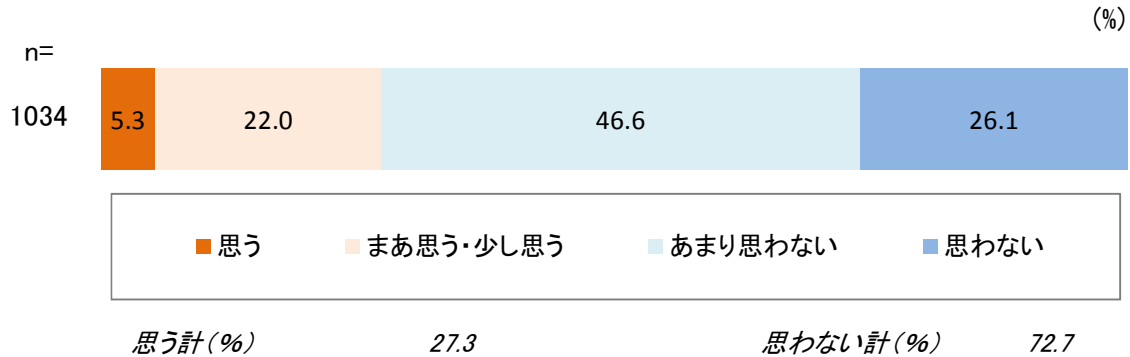
- ・性別にみると、男性では「水道水の安定供給が行われていると思う」と回答した割合が 98.0%と女性に比べ高くなっている。
- ・居住地域別にみると、柏小学校区では「思う」が 84.6%と他の居住地域に比べ高くなっている。
- ・恵庭市在住通算年別にみると、5年未満では「思う」が 61.5%と5年以上に比べ低くなっている。
- 平成26年度調査では「水道水の安定供給が行われていると思う」と回答した割合が 91.0%であったが、平成30年度調査では 95.4%となっている。

問31 大雨時の浸水対策が行われていると思いますか。



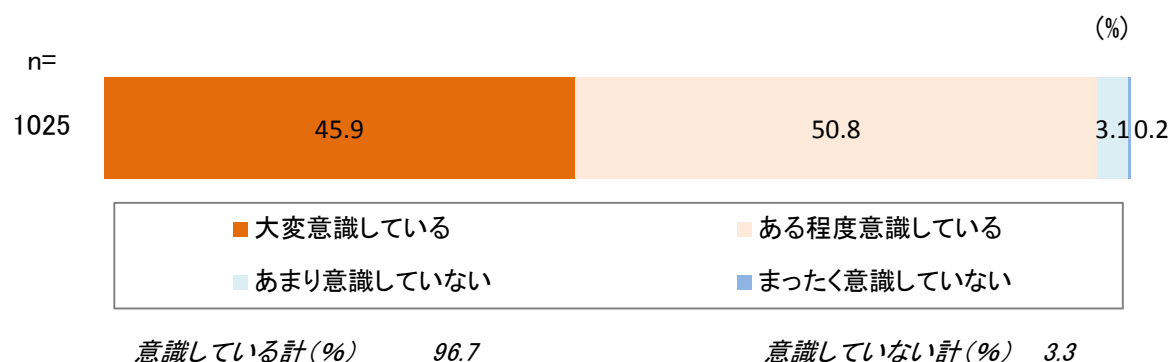
- ◎大雨時の浸水対策が行われていると思うかについては、「思う」（16.0%）、「まあ思う・少し思う」（44.0%）となっており、合わせた 60.0%の人が「大雨時の浸水対策が行われていると思う」と回答している。
- ・性別にみると、男性では「大雨時の浸水対策が行われていると思う」と回答した割合が 63.8%と女性に比べ高くなっている。
 - ・居住地域別にみると、若草小学校区、島松小学校区では「大雨時の浸水対策が行われていると思う」と回答した割合が 50%台と他の居住地域に比べ低くなっている。
 - ・恵庭市在住通算年別にみると、10 年未満では「大雨時の浸水対策が行われていると思う」と回答した割合が 50%前後と 10 年以上に比べ低くなっている。
 - ・現住所以前の住所別にみると、道内（札幌圏以外）、道外では「大雨時の浸水対策が行われていると思う」と回答した割合が 55%前後と他の層に比べ低くなっている。
- 平成 26 年度調査では「大雨時の浸水対策が行われていると思う」と回答した割合が 50.0%であったが、平成 30 年度調査では 60.0%となっている。

問32 最寄りの駅周辺に賑わいがあると思いますか。



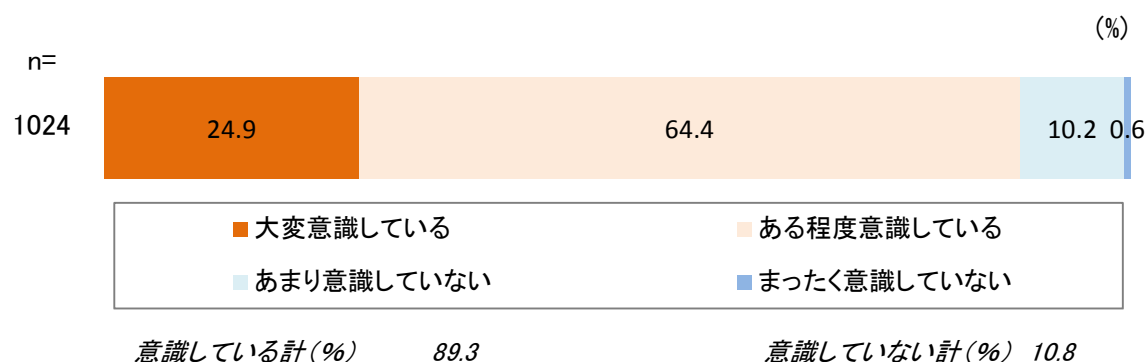
- ◎最寄りの駅周辺に賑わいがあると思うかについては、「思う」（5.3%）、「まあ思う・少し思う」（22.0%）となっており、合わせた 27.3%の人が＜最寄りの駅周辺に賑わいがあると思う＞と回答している。
- 性別にみると、女性では＜最寄りの駅周辺に賑わいがあると思う＞と回答した割合が 29.4%と男性に比べ高くなっている。
 - 通勤・通学先別にみると、北広島では＜最寄りの駅周辺に賑わいがあると思う＞と回答した割合が 12.1%と他の通勤・通学先に比べ低くなっている。
 - 家族構成別にみると、三世代世帯（親と子と孫）では＜最寄りの駅周辺に賑わいがあると思う＞と回答した割合が 17.1%と他の家族構成に比べ低くなっている。
 - 居住地域別にみると、和光小学校区、島松小学校区では＜最寄りの駅周辺に賑わいがあると思う＞と回答した割合が 10%前後と他の居住地域に比べ低くなっている。
- 平成 26 年度調査では＜最寄りの駅周辺に賑わいがあると思う＞と回答した割合が 14.9%であったが、平成 30 年度調査では 27.3%となっている。

問33 日常生活の中で、ごみマナー向上・リサイクル推進を意識されていますか。



- ◎日常生活におけるごみマナー向上・リサイクル推進の意識については、「大変意識している」（45.9%）、「ある程度意識している」（50.8%）となっており、合わせた96.7%の人が＜日常生活の中で、ごみマナー向上・リサイクル推進を意識している＞と回答している。
- ・年代別にみると、60歳代以上では「大変意識している」が50%以上と50歳代以下に比べ高くなっている。
 - ・家族構成別にみると、単身世帯、一世代世帯（夫婦だけ）では「大変意識している」が50%前後と他の家族構成に比べ高くなっている。
 - ・現住所以前の住所別にみると、恵庭市内では「大変意識している」が39.5%と他の層に比べ低くなっている。
 - ・住居形態別にみると、民間の借家・アパート・賃貸マンション等では「大変意識している」が40.9%と持ち家（分譲マンション含む）に比べ低くなっている。

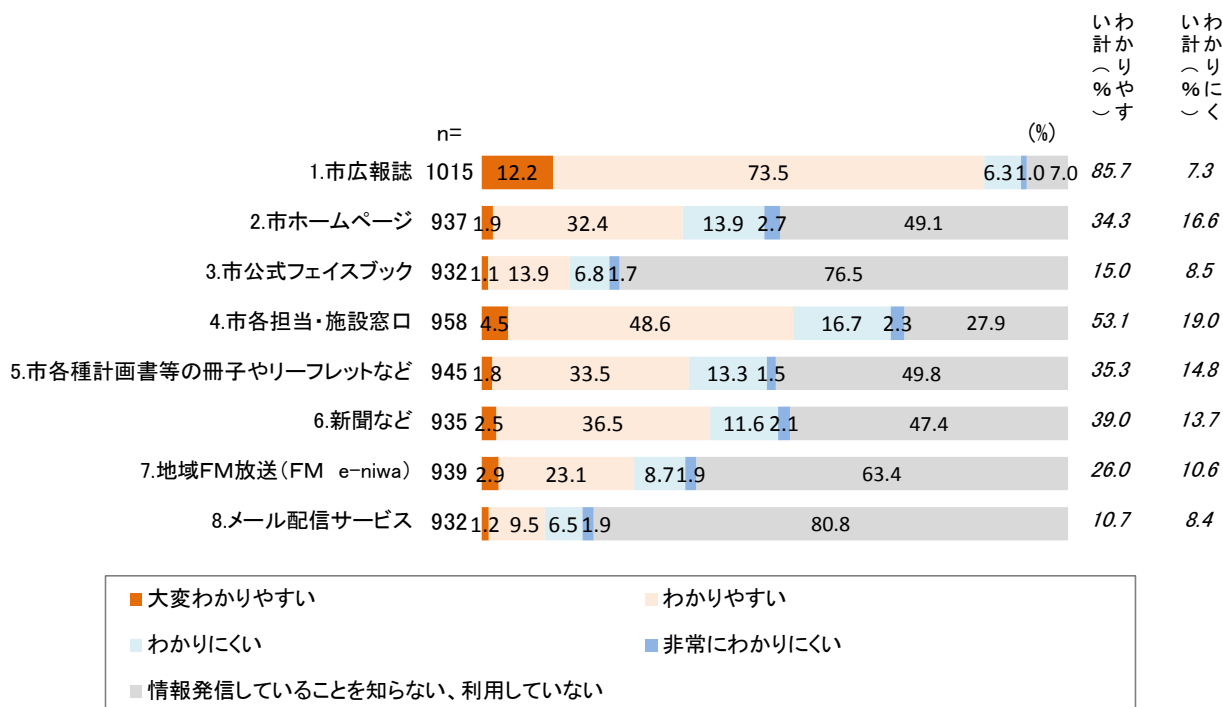
問34 日常生活の中で、節電を意識されていますか。



- ◎日常生活における節電の意識については、「大変意識している」（24.9%）、「ある程度意識している」（64.4%）となっており、合わせた89.3%の人が＜日常生活の中で、節電を意識している＞と回答している。
- ・年代別にみると、70歳代以上では「大変意識している」が36.4%と60歳代以下に比べ高くなっている。
- ・家族構成別にみると、多世代ほど「大変意識している」が低くなっている。
- ・居住地域別にみると、若草小学校区では＜日常生活の中で、節電を意識している＞と回答した割合が77.5%と他の居住地域に比べ低くなっている。
- ・住居形態別にみると、民間の借家・アパート・賃貸マンション等では＜日常生活の中で、節電を意識している＞と回答した割合が78.9%と持ち家（分譲マンション含む）に比べ低くなっている。
- 平成26年度調査では「大変意識している」が36.5%であったが、平成30年度調査では24.9%となっている。

2.7. 人材育成、行政サービス、協働、市民自治について

問35 あなたが得ている市役所からの情報はわかりやすいですか。



1. 市広報誌

◎市広報誌のわかりやすさについては、「大変わかりやすい」(12.2%)、「わかりやすい」(73.5%)となっており、合わせた85.7%の人が「わかりやすい」と回答している。

2. 市ホームページ

◎市ホームページのわかりやすさについては、「大変わかりやすい」(1.9%)、「わかりやすい」(32.4%)となっており、合わせた34.3%の人が「わかりやすい」と回答している。

3. 市公式フェイスブック

◎市公式フェイスブックのわかりやすさについては、「大変わかりやすい」(1.1%)、「わかりやすい」(13.9%)となっており、合わせた15.0%の人が「わかりやすい」と回答している。

4. 市各担当・施設窓口

◎市各担当・施設窓口のわかりやすさについては、「大変わかりやすい」(4.5%)、「わかりやすい」(48.6%)となっており、合わせた53.1%の人が「わかりやすい」と回答している。

5. 市各種計画書等の冊子やリーフレットなど

◎市各種計画書等の冊子やリーフレットなどのわかりやすさについては、「大変わかりやすい」(1.8%)、「わかりやすい」(33.5%)となっており、合わせた35.3%の人が「わかりやすい」と回答している。

6. 新聞など

◎新聞などのわかりやすさについては、「大変わかりやすい」(2.5%)、「わかりやすい」(36.5%)となっており、合わせた39.0%の人が「わかりやすい」と回答している。

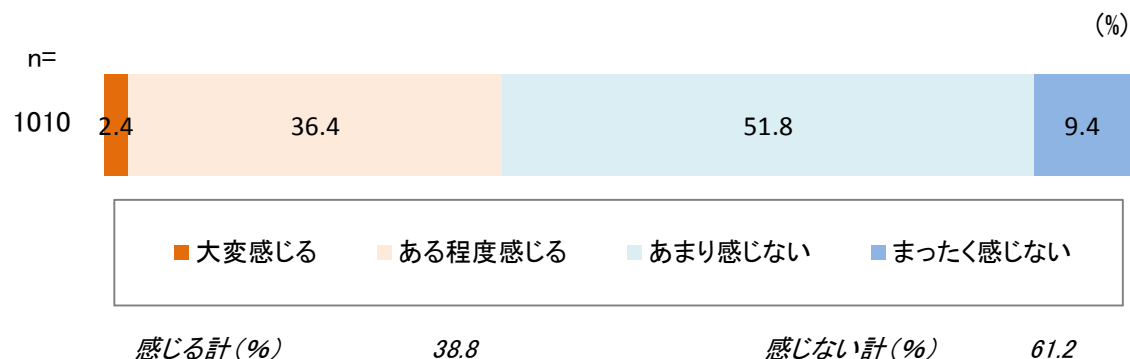
7. 地域FM放送 (FM e-niwa)

◎地域FM放送 (FM e-niwa) のわかりやすさについては、「大変わかりやすい」(2.9%)、「わかりやすい」(23.1%)となっており、合わせた26.0%の人が「わかりやすい」と回答している。

8. メール配信サービス

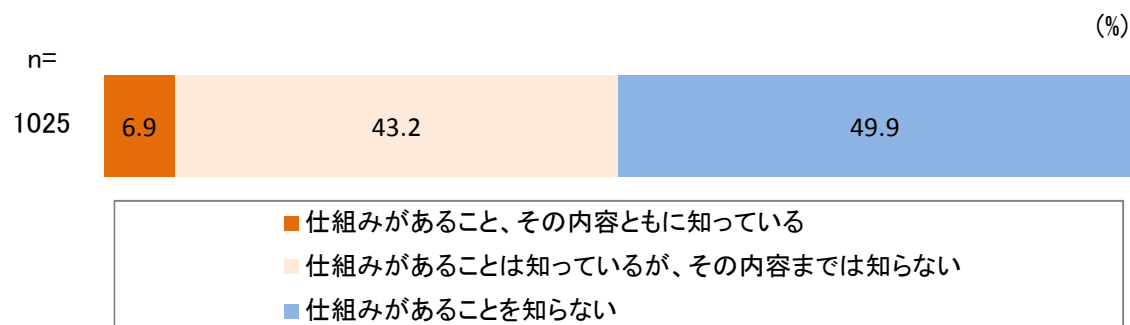
- ◎メール配信サービスのわかりやすさについては、「大変わかりやすい」（1.2%）、「わかりやすい」（9.5%）となっており、合わせた10.7%の人が「わかりやすい」と回答している。

問36 恵庭市が透明性の高い行政運営を実施していると感じますか。



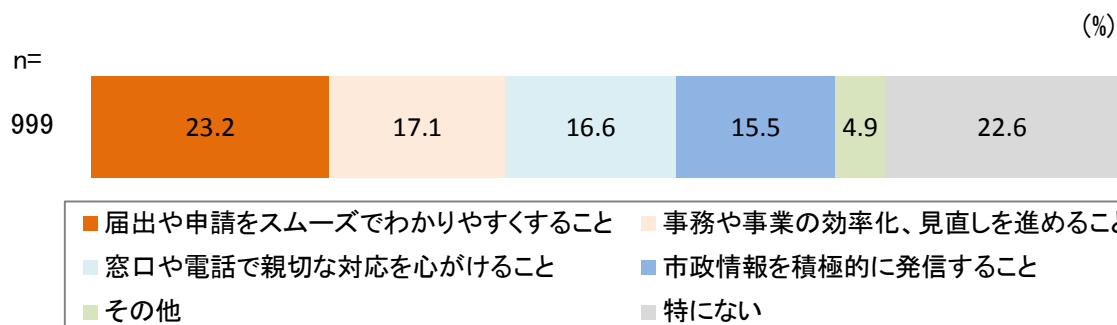
- ◎恵庭市が透明性の高い行政運営を実施していると感じているかについては、「大変感じる」(2.4%)、「ある程度感じる」(36.4%)となっており、合わせた38.8%の人が「恵庭市が透明性の高い行政運営を実施していると感じている」と回答している。
- 年代別にみると、70歳代以上では「恵庭市が透明性の高い行政運営を実施していると感じている」と回答した割合が49.3%と60歳代以下に比べ高くなっている。
 - 家族構成別にみると、多世代ほど「恵庭市が透明性の高い行政運営を実施していると感じている」と回答した割合が低くなっている。
 - 居住地域別にみると、和光小学校区、若草小学校区では「恵庭市が透明性の高い行政運営を実施していると感じている」と回答した割合が約30%と他の居住地域に比べ低くなっている。
 - 住居形態別にみると、持ち家（分譲マンション含む）では恵庭市が透明性の高い行政運営を実施していると感じている」と回答した割合が40.7%と民間の借家・アパート・賃貸マンション等に比べ高くなっている。

問37 恵庭市に対して市民の声を政策の決定や予算に反映させる仕組みがあることをご存知ですか。



- ◎恵庭市に対して市民の声を政策の決定や予算に反映させる仕組みがあることの認知については、「仕組みがあること、その内容ともに知っている」は6.9%、「仕組みがあることは知っているが、その内容までは知らない」は43.2%、「仕組みがあることを知らない」は49.9%となっている。
- ・年代別にみると、60歳代以上では「仕組みがあることを知らない」は30%台と50歳代以下に比べ低くなっている。
 - ・家族構成別にみると、三世帯世帯（親と子と孫）では「仕組みがあることを知らない」が65.2%と他の家族構成に比べ高くなっている。
 - ・居住地域別にみると、柏小学校区、若草小学校区では「仕組みがあることを知らない」が60%台と他の居住地域に比べ高くなっている。
 - ・恵庭市在住通算年別にみると、5年未満では「仕組みがあることを知らない」が71.8%と5年以上に比べ高くなっている。

問38 市役所の仕事の取り組み方について、あなたがもっと力を入れてほしいと思うことは何ですか。

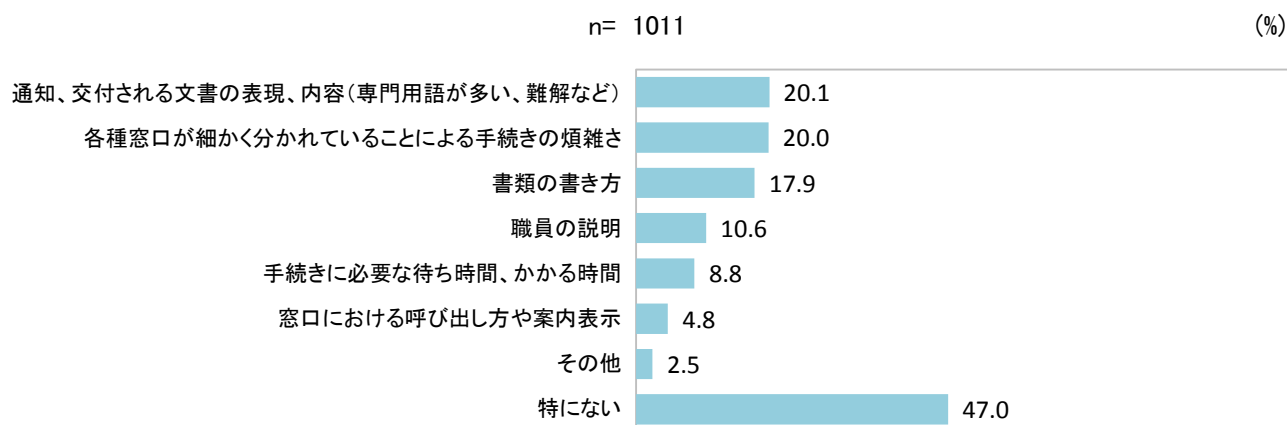


- ◎市役所の仕事の取り組み方について、あなたがもっと力を入れてほしいと思うことについては、「届出や申請をスムーズでわかりやすくすること」が23.2%で最も高く、次いで「事務や事業の効率化、見直しを進めること」が17.1%、「窓口や電話で親切な対応を心がけること」が16.6%、「市政情報を積極的に発信すること」が15.5%となっている。
- ・年代別にみると、20～30歳代では「届出や申請をスムーズでわかりやすくすること」が30%以上と他の年代に比べ高くなっている。
 - ・家族構成別にみると、三世代世帯（親と子と孫）では「届出や申請をスムーズでわかりやすくすること」が32.6%と他の家族構成に比べ高くなっている。
 - ・恵庭市在住通算年別にみると、10年未満では「届出や申請をスムーズでわかりやすくすること」が28～29%と10年以上に比べ高くなっている。
 - ・住居形態別にみると、民間の借家・アパート・賃貸マンション等では「届出や申請をスムーズでわかりやすくすること」が31.0%と持ち家（分譲マンション含む）に比べ高くなっている。

<その他の主な内容>

- ・「除雪の充実」「土日の対応」「情報発信の充実」など様々。

問39 市役所で届出や申請をした際に、わかりづらいと感じたことはありますか。

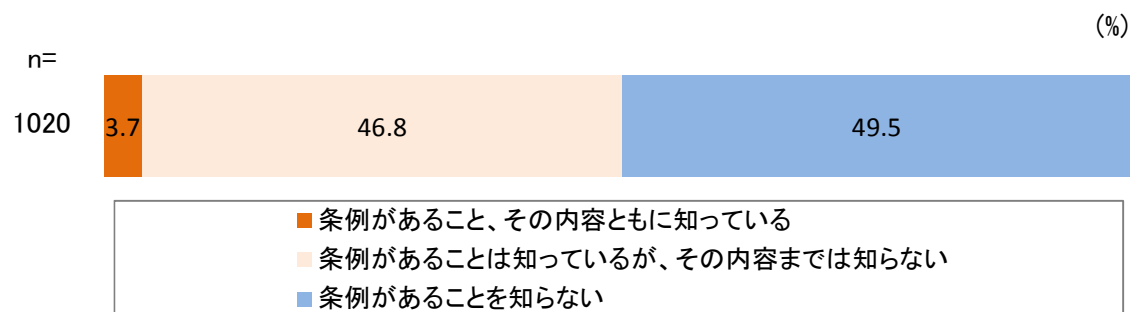


- ◎市役所で届出や申請をした際に、わかりづらいと感じたことについては、「通知、交付される文書の表現、内容（専門用語が多い、難解など）」が 20.1%、「各種窓口が細かく分かれていることによる手続きの煩雑さ」が 20.0%、「書類の書き方」が 17.9%となっている。また、「特にない」が 47.0%となっていることから、何らかわかりづらいと感じたことがある人は 53.0%となっている。
- ・年代別にみると、30 歳代では「各種窓口が細かく分かれていることによる手続きの煩雑さ」が 31.3% と他の年代に比べ高くなっている。
 - ・家族構成別にみると、三世代世帯（親と子と孫）では「各種窓口が細かく分かれていることによる手続きの煩雑さ」が 31.1% と他の家族構成に比べ高くなっている。
 - ・居住地域別にみると、柏小学校区では「各種窓口が細かく分かれていることによる手続きの煩雑さ」が 30.8% と他の居住地域に比べ高くなっている。
 - ・現住所以前の住所別にみると、恵庭市内では「通知、交付される文書の表現、内容（専門用語が多い、難解など）」「書類の書き方」が他の層に比べ高くなっている。

<その他の主な内容>

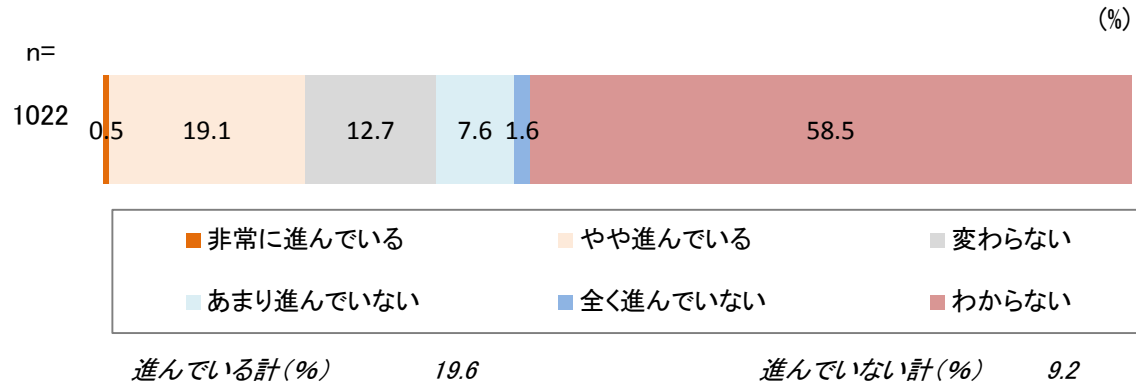
- ・「専門用語が理解できない」「職員によって対応が異なる」など様々。

問40 恵庭市まちづくり基本条例があることをご存知ですか。



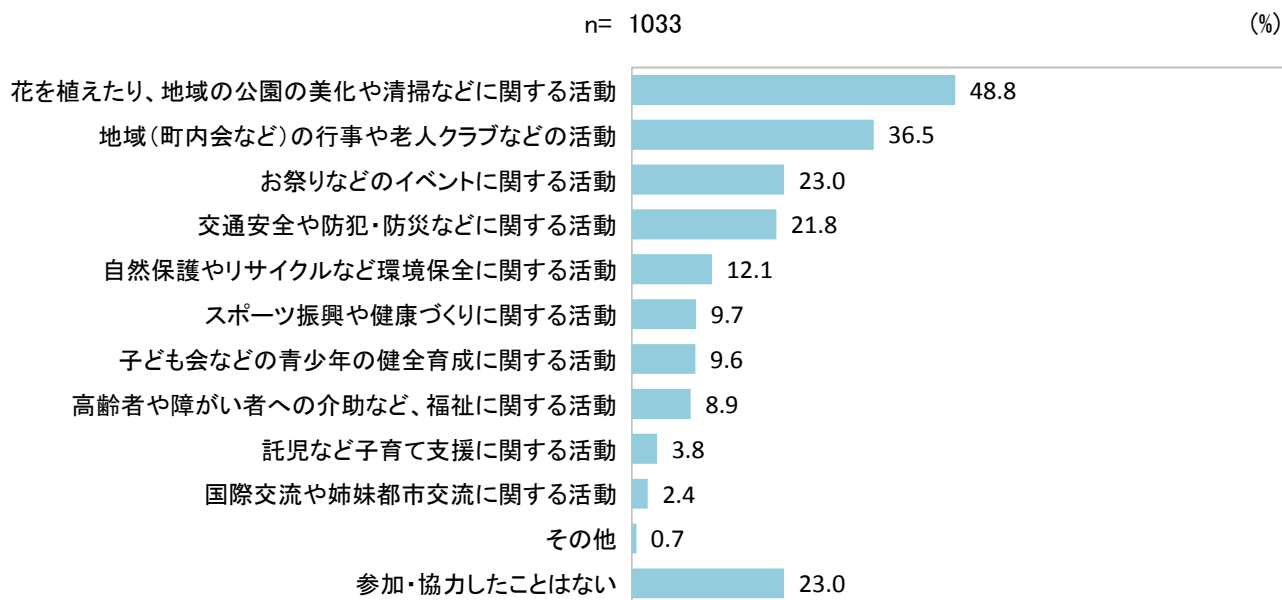
- ◎恵庭市まちづくり基本条例があることの認知について、「条例があること、その内容とも知っている」は 3.7%、「条例があることは知っているが、その内容までは知らない」は 46.8%、「条例があることを知らない」は 49.5%となっている。
- ・性別にみると、男性では「条例があることを知らない」が 43.6%と女性に比べ低くなっている。
 - ・年代別に 20 歳代以上に限ってみると、高齢層ほど「条例があることを知らない」は低くなっている。
 - ・家族構成別にみると、三世帯世帯（親と子と孫）では「条例があることを知らない」が 63.0%と他の家族構成に比べ高くなっている。
 - ・恵庭市在住通算年別にみると、5 年未満では「条例があることを知らない」が 72.4%と 5 年以上に比べ高くなっている。
- 平成 26 年度調査では「条例があることを知らない」が 45.0%であったが、平成 30 年度調査では 49.5%となっている。

問41 このようなまちづくりが、どの程度進んでいると感じますか。



◎まちづくりが、どの程度進んでいると感じているかについては、「非常に進んでいる」(0.5%)、「やや進んでいる」(19.1%)となっており、合わせた19.6%の人が「進んでいる」と回答している。
 ・住居形態別にみると、持ち家(分譲マンション含む)では「進んでいる」と回答した割合が20.7%と民間の借家・アパート・賃貸マンション等に比べ高くなっている。

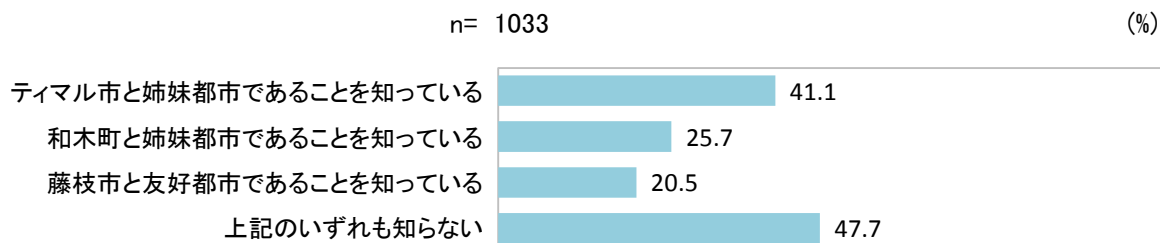
問42 今までどのような活動に参加・協力したことがありますか。



◎今まで参加・協力した活動については、「花を植えたり、地域の公園の美化や清掃などに関する活動」が48.8%で最も高く、次いで「地域（町内会など）の行事や老人クラブなどの活動」が36.5%となっている。

- ・年代別にみると、20～30歳代で「参加・協力したことはない」が30%以上と他の年代に比べ高くなっている。
- ・家族構成別にみると、三世代世帯（親と子と孫）では「地域（町内会など）の行事や老人クラブなどの活動」が47.8%と他の家族構成に比べ高くなっている。
- ・居住地域別にみると、若草小学校区では「参加・協力したことはない」、島松小学校区では「お祭りなどのイベントに関する活動」が他の居住地域に比べ高くなっている。
- ・恵庭市在住通算年別にみると、10年未満では「参加・協力したことはない」が40%前後と10年以上に比べ高くなっている。

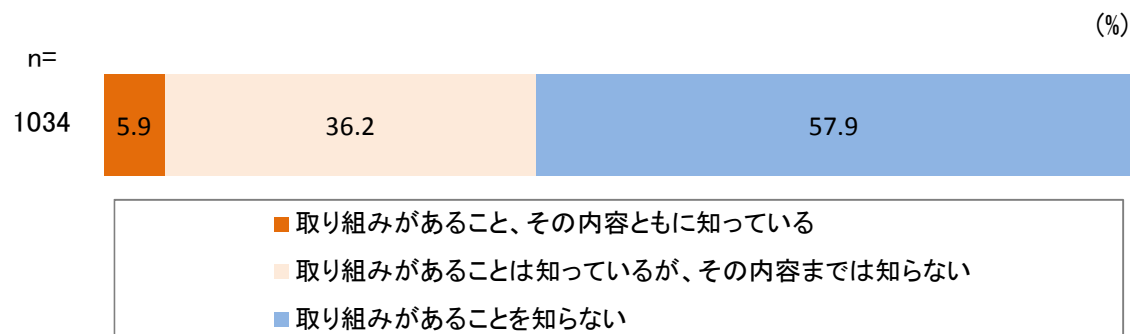
問43 和木町(山口県)、ティマル市(ニュージーランド)と姉妹都市、藤枝市(静岡県)と友好都市提携を結んでいることをご存知ですか。



◎和木町、ティマル市との姉妹都市、藤枝市との友好都市の提携の認知については、「ティマル市と姉妹都市であることを知っている」は 41.1%、「和木町と姉妹都市であることを知っている」は 25.7%、「藤枝市と友好都市であることを知っている」は 20.5%、「いずれも知らない」は 47.7% となっている。

- ・性別にみると、男性では「いずれも知らない」が 55.2%と女性に比べ高くなっている。
- ・年代別にみると、20歳代で「いずれも知らない」が 67.2%と他の年代に比べ高くなっている。
- ・職業別にみると、会社員では「いずれも知らない」が 59.0%と他の職業に比べ高くなっている。
- ・家族構成別にみると、三世帯世帯（親と子と孫）では「ティマル市と姉妹都市であることを知っている」「和木町と姉妹都市であることを知っている」が他の家族構成に比べ高くなっている。
- ・居住地域別にみると、若草小学校区では「いずれも知らない」が 66.7%と他の居住地域に比べ高くなっている。
- ・恵庭市在住通算年別にみると、通算年が短いほど「いずれも知らない」が高くなっている。

問44 男女共同参画社会への取り組みをご存知ですか。



- ◎男女共同参画社会への取り組みの認知については、「取り組みがあること、その内容ともに知っている」は5.9%、「取り組みがあることは知っているが、その内容までは知らない」は36.2%、「取り組みがあることを知らない」は57.9%となっている。
- ・性別にみると、女性では「取り組みがあることを知らない」は62.8%と男性に比べ高くなっている。
 - ・年代別にみると、20歳代で「取り組みがあること、その内容ともに知っている」は18.0%と他の年代に比べ高くなっている。
 - ・家族構成別にみると、一世代世帯（夫婦だけ）では「取り組みがあることを知らない」が50.4%と他の家族構成に比べ低くなっている。
 - ・居住地域別にみると、若草小学校区では「取り組みがあることを知らない」が77.5%と他の居住地域に比べ高くなっている。
 - ・恵庭市在住通算年別にみると、10年未満では「取り組みがあることを知らない」が71~72%と10年以上に比べ高くなっている。

問 45. 市政全般についてお気づきの点がありましたら、ご自由にお書きください。

市政全般に関する意見を求めたところ、331 件の回答があった。その意見を、下記の分類表に示すように、市政全般に関する意見を大分類で 14 分類、小分類で 46 分類して集計を行った。（複数回答として処理）

最も多かった意見は「除排雪・道路状態の改良」に関する意見で 72 件、その中でも＜除排雪＞に関する意見が 47 件を占めた。次いで多い意見は「市政全般」に関する意見で 62 件、その中で＜市政＞＜市役所職員＞に関する意見が各々 32 件、31 件を占めた。

次いで「駅の改良・交通の利便性向上について」が 54 件、「施設の拡充」38 件、「駅前開発・街づくり」「観光・特産品」各々 36 件、「福祉・医療費・病院の充実」31 件となっている。

（市政全般に関する意見の分類表）

大分類	小分類
1 駅前開発・街づくりについて	1 街づくり
	2 駅前開発
	3 商業施設
2 駅の改良・交通の利便性向上について	4 駅
	5 交通
	6 バス
3 除排雪・道路状態の改良について	7 除排雪
	8 道路状態
4 福祉・医療費・病院の充実について	9 福祉
	10 医療費
	11 病院
5 ゴミ処理・衛生について	12 ゴミ（収集日）
	13 ゴミ（分別）
	14 ゴミ（ゴミ袋）
	15 ゴミ（その他）
	16 衛生
	17 子育て支援
6 子育て環境について	18 学童保育
	19 保育士不足
	20 広報誌
7 コミュニケーション活動について	21 イベント
	22 町内会
	23 情報発信

大分類	小分類
8 観光・特産品について	24 観光振興
	25 道の駅
	26 特産品
	27 花のまち
	28 娯楽・スポーツ施設
9 施設の拡充について	29 公園
	30 図書館
	31 産業振興
10 産業・雇用について	32 雇用促進
	33 自然環境
11 自然・農業について	34 野菜
	35 農業振興
	36 市政
12 市政全般について	37 市役所職員
	38 市役所庁舎
	39 保健センター
	40 事業
	41 防犯対策
13 防犯・防災について	42 防災対策
	43 水道料金
14 その他	44 モラル・マナー
	45 本アンケート
	46 その他

＜市政全般に関する意見／大分類・小分類／件数＞

